

令和2年度

横浜市

自治会町内会・地区連合町内会
アンケート調査報告書

横浜市市民局

令和2年度 横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書

目 次

I. 調査結果概要	2
II. 調査結果（自治会・町内会）	4
○ 自治会・町内会について.....	4
1 自治会町内会長について.....	5
2 自治会町内会館について.....	10
3 地区連合町内会の加入について.....	18
4 地域における防犯カメラの設置について.....	19
5 自治会町内会の活動について.....	20
6 コロナ禍における自治会町内会活動について.....	21
7 自治会町内会への加入に向けての取組について.....	26
8 自治会町内会の運営上の課題について.....	30
9 行政からの依頼事項について.....	34
10 自治会町内会活動に関するご意見.....	36
III. 調査結果（地区連合町内会）	38
1 地区連合町内会長について.....	38
2 地区連合町内会館について.....	43
3 地区連合町内会の活動について.....	51
4 地区連合町内会の運営上の課題について.....	55
5 コロナ禍における活動での課題、工夫.....	56
6 地区連合町内会活動に関するご意見.....	57

I. 調査結果概要

調査の目的	自治会町内会・地区連合町内会の活動状況を把握し、今後の自治会町内会活動に対する本市の施策の参考資料とするとともに、自治会町内会・地区連合町内会相互に情報を共有することを目的に実施しました。		
経緯	平成15年までは、予算・決算を含めた『自治会町内会実態調査』を毎年実施し、平成16年度以降は、4年ごとのアンケート調査を実施しています。		
調査対象	単位町内会	2853	団体（調査時点）
	地区連合町内会	253	団体（調査時点）
回答率(数)	単位町内会	90.5%	(2583 団体)
	地区連合町内会	96.0%	(243 団体)
調査期間	令和2年9月～10月		

1 図表の見方

図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。

n：その設問に対する回答者数 例：(n=2,530) … 回答者数は2,530

2 集計結果の見方

- (1) 回答の比率（全て百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている。なお、各設問の表で網掛けされている項目は回答数が最も多かったものを表している。
- (3) 自治会町内会の区域について、本報告書では次のとおり省略して記載している。
「地域を区域」… 町・丁を単位とするなど地域を区域としている自治会町内会
「団地を区域」… 団地を区域としている自治会町内会
「マンションを区域」… マンションを区域としている自治会町内会

調査対象回収状況

区名	自治会 町内会 回答数	自治会 町内会 総数	自治会 町内会 回収率(%)	地区連合 町内会 回答数	地区連合 町内会 総数	地区連合 町内会 回収率(%)
鶴見区	115	125	92.0	17	17	100.0
神奈川区	155	178	87.1	20	21	95.2
西区	91	99	91.9	6	7	85.7
中区	123	130	94.6	11	12	91.7
南区	191	206	92.7	14	16	87.5
港南区	162	169	95.9	15	15	100.0
保土ヶ谷区	193	196	98.5	20	20	100.0
旭区	199	236	84.3	19	19	100.0
磯子区	143	168	85.1	9	9	100.0
金沢区	145	172	84.3	13	14	92.9
港北区	143	151	94.7	13	13	100.0
緑区	108	123	87.8	11	11	100.0
青葉区	146	162	90.1	14	15	93.3
都筑区	103	123	83.7	15	15	100.0
戸塚区	198	220	90.0	17	18	94.4
栄区	81	88	92.0	7	7	100.0
泉区	143	153	93.5	12	12	100.0
瀬谷区	144	154	93.5	10	12	83.3
合計	2,583	2,853	90.5	243	253	96.0

Ⅱ. 調査結果（自治会・町内会）

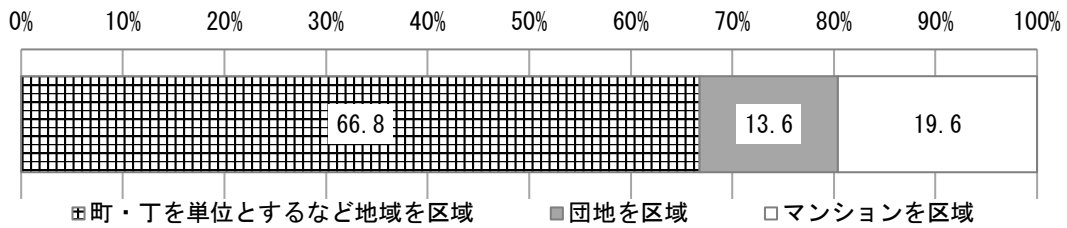
○ 自治会・町内会について

【自治会町内会の区域（エリア）について】

「町・丁を単位とするなど地域を区域」（66.8%）が最も多く、次いで「マンションを区域」（19.6%）、「団地を区域」（13.6%）の順となっている。

区域とするエリア

n=2,498



区名	実数			構成比 (%)		
	町・丁を単位とするなど地域を区域	団地を区域	マンションを区域	町・丁を単位とするなど地域を区域	団地を区域	マンションを区域
鶴見区	102	1	9	91.1	0.9	8.0
神奈川区	124	14	15	81.0	9.2	9.8
西区	71	3	15	79.8	3.4	16.9
中区	93	5	17	80.9	4.3	14.8
南区	143	11	23	80.8	6.2	13.0
港南区	90	33	34	57.3	21.0	21.7
保土ヶ谷区	112	26	47	60.5	14.1	25.4
旭区	127	28	36	66.5	14.7	18.8
磯子区	69	24	43	50.7	17.6	31.6
金沢区	80	28	36	55.6	19.4	25.0
港北区	108	3	26	78.8	2.2	19.0
緑区	53	32	22	49.5	29.9	20.6
青葉区	92	24	26	64.8	16.9	18.3
都筑区	62	8	29	62.6	8.1	29.3
戸塚区	91	28	74	47.2	14.5	38.3
栄区	50	15	14	63.3	19.0	17.7
泉区	101	22	20	70.6	15.4	14.0
瀬谷区	101	34	4	72.7	24.5	2.9
合計	1,669	339	490	66.8	13.6	19.6

※無回答・無効票は除いて計算

1 自治会町内会長について

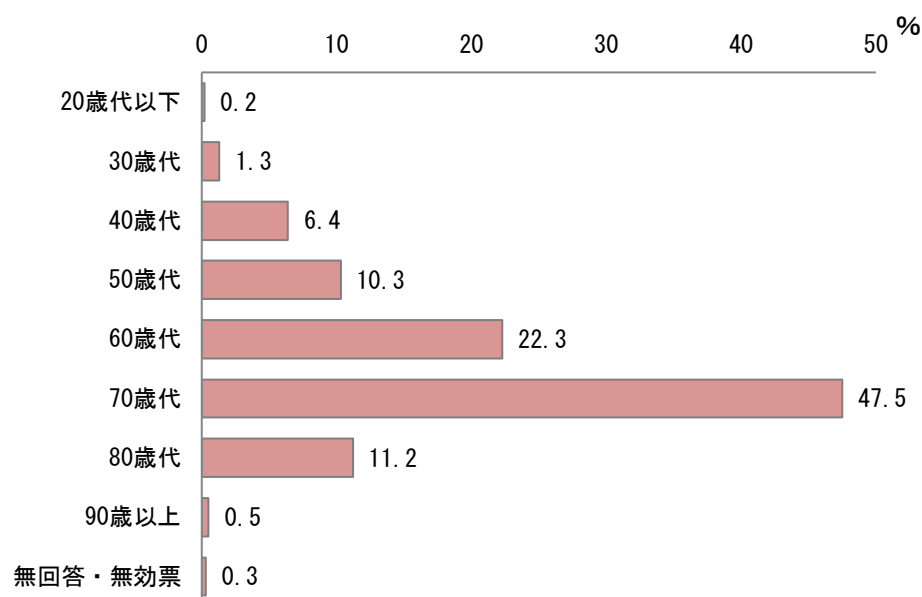
【会長の年齢】

70歳代（47.5%）が最も多く、全体の約5割を占めている。次いで60歳代（22.3%）が続いており、この2つをあわせると、60～70歳代が約7割となっている。

前回調査に比べて、60歳代の割合が減少し、70歳代の割合が増加している。

年齢

n=2,583



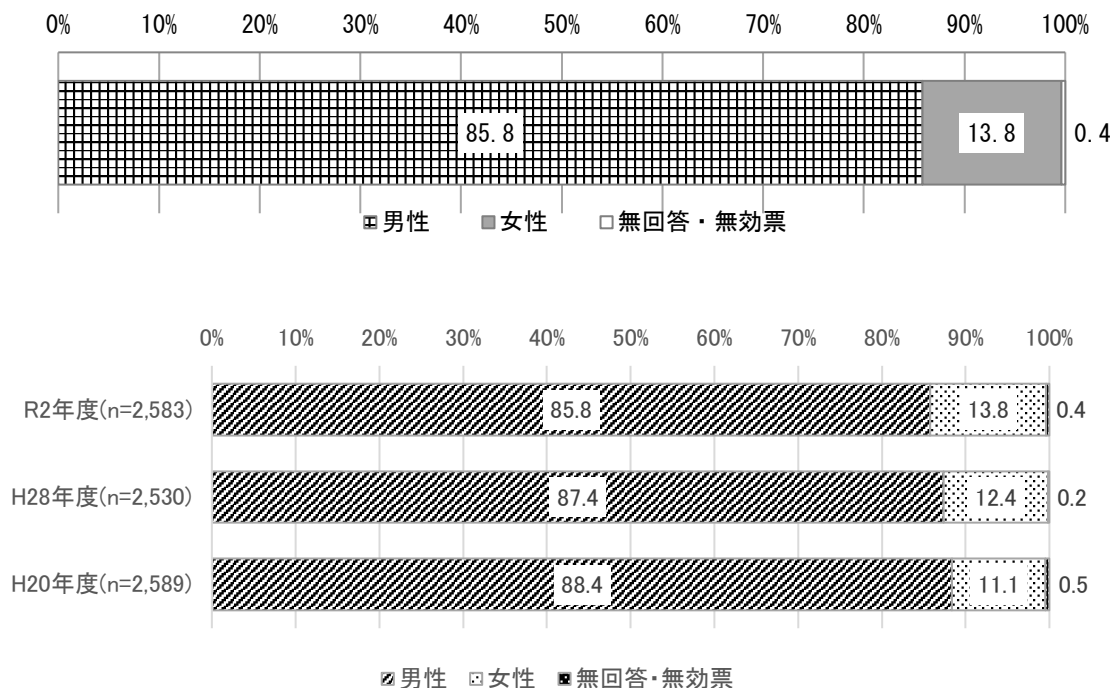
年齢区分	n=2,583		n=2,530		n=2,565		n=2,589	
	R2年度		H28年度		H24年度		H20年度	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
20歳代以下	4	0.2	8	0.3	12	0.5	12	0.5
30歳代	33	1.3	41	1.6	71	2.8	89	3.4
40歳代	165	6.4	154	6.1	169	6.6	168	6.5
50歳代	267	10.3	256	10.1	258	10.1	302	11.7
60歳代	575	22.3	867	34.3	857	33.4	880	34.0
70歳代	1,228	47.5	980	38.7	1,014	39.5	967	37.4
80歳代	289	11.2	209	8.3	174	6.8	162	6.3
90歳以上	13	0.5	6	0.2	3	0.1	1	0.0
無回答・無効票	9	0.3	9	0.4	7	0.3	8	0.3

【会長の性別】

「男性」(85.8%)が多く、「女性」(13.8%)を大きく上回っている。過去調査と比較すると、徐々に男性の割合が減少し、女性の割合が増加している。

性別

n=2,583



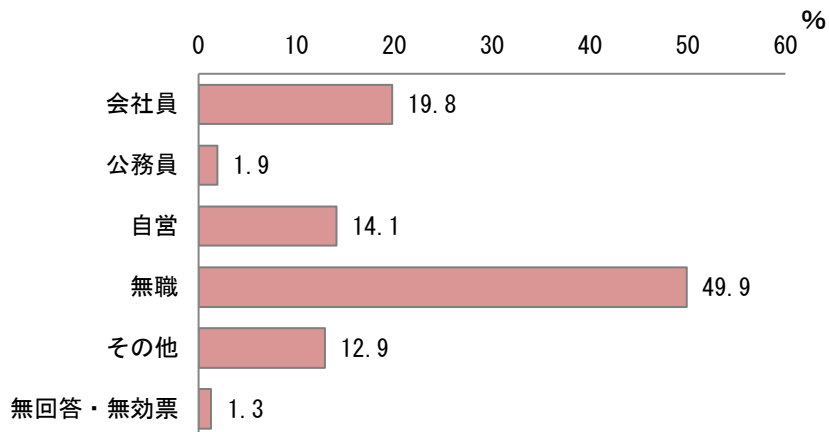
※H24年度はこの項目についてアンケートを行っていない

【会長の職業】

「無職」(49.9%)が最も多く、全体の約半数を占める。次いで「会社員」(19.8%)、「自営」(14.1%)と続いている。

会長職業

n=2,583



会長職業

職業	n=2, 583		n=2, 530		n=2, 565		n=2, 589	
	R2年度		H28年度		H24年度		H20年度	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
会社員	511	19.8	530	20.9	522	20.4	551	21.3
公務員	50	1.9	45	1.8	59	2.3	63	2.4
自営	364	14.1	394	15.6	417	16.3	492	19.0
無職	1,290	49.9	1,225	48.4	1,308	51.0	1,202	46.4
その他	334	12.9	311	12.3	222	8.7	266	10.3
無回答・無効票	34	1.3	25	1.0	37	1.4	15	0.6

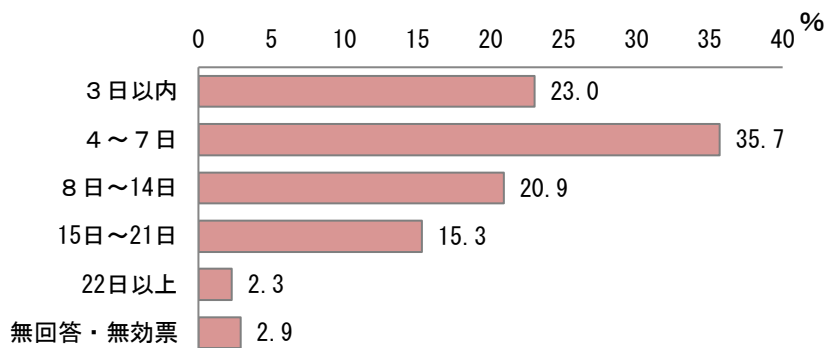
【1か月の自治会町内会活動の従事日数】

「4日～7日」(35.7%)が最も多く、次いで「3日以内」(23.0%)となっている。以下「8日～14日」(20.9%)、「15～21日」(15.3%)、「22日以上」(2.3%)と続く。

前回調査に比べて、「3日以内」「4日～7日」の割合が増加し、8日以上の割合が減少している。

活動の従事日数

n=2, 583



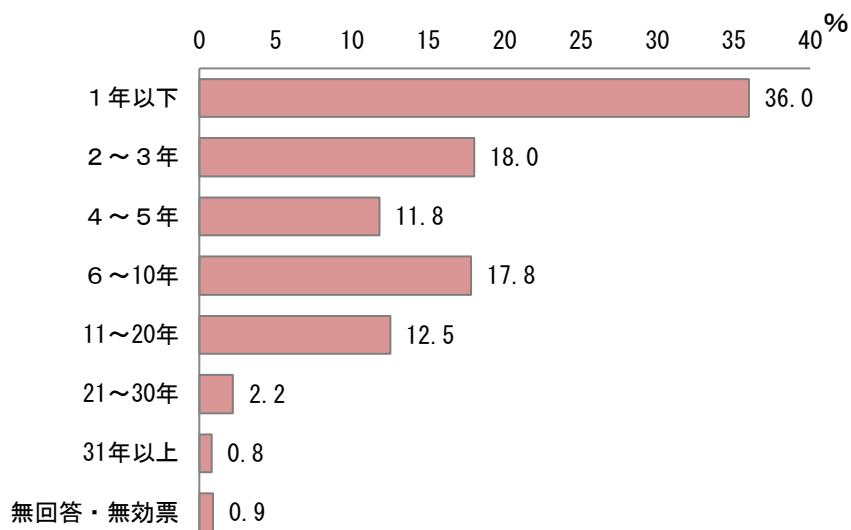
日数	n=2, 583		n=2, 530		n=2, 565		n=2, 589	
	R2年度		H28年度		H24年度		H20年度	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
3日以内	593	23.0	336	13.3	391	15.2	442	17.1
4日～7日	923	35.7	804	31.8	810	31.6	816	31.5
8日～14日	540	20.9	674	26.6	640	25.0	605	23.4
15日～21日	394	15.3	514	20.3	533	20.8	494	19.1
22日以上	59	2.3	112	4.4	104	4.1	126	4.9
無回答・無効票	74	2.9	90	3.6	87	3.4	106	4.1

【会長の在職年数】

「1年以下」(36.0%)が最も多く、次いで「2～3年」(18.0%)となっており、全体の半数以上が5年未満となっている。

在職年数

n=2,583



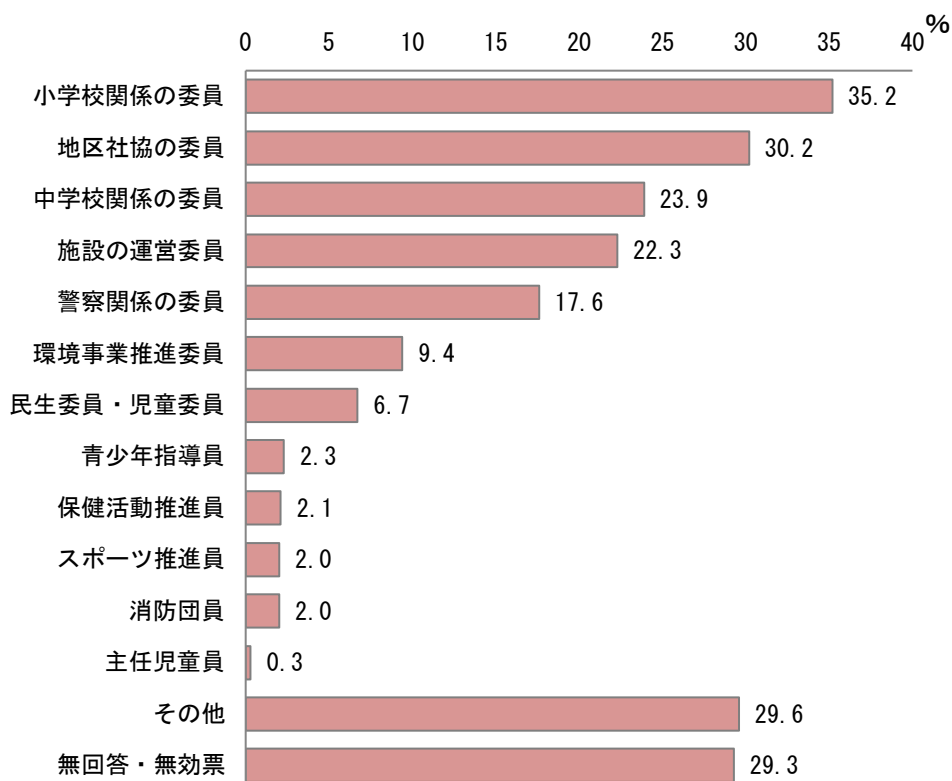
在職年数	n=2,583		n=2,530		n=2,565		n=2,589	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
1年以下	929	36.0	958	37.9	1,051	41.0	937	36.2
2～3年	465	18.0	439	17.4	464	18.1	564	21.8
4～5年	304	11.8	316	12.5	288	11.2	308	11.9
6～10年	461	17.8	436	17.2	402	15.7	394	15.2
11～20年	322	12.5	246	9.7	227	8.8	256	9.9
21～30年	58	2.2	59	2.3	68	2.7	76	2.9
31年以上	21	0.8	23	0.9	21	0.8	22	0.8
無回答・無効票	23	0.9	53	2.1	44	1.7	32	1.2

【会長職以外に兼任されている役職】

「小学校関係の委員」(35.2%)が最も多く、次いで「地区社協の委員」(30.2%)となっている。以下「中学校関係の委員」(23.9%)、「施設の運営委員」(22.3%)、「警察関係の委員」(17.6%)と続いている。

兼任状況 ※複数回答

n=2,583



■ 「その他」の主な回答

- 防災・防犯関係 266 件
- 地区連合町内会関係 101 件
- 公園愛護会関係 64 件

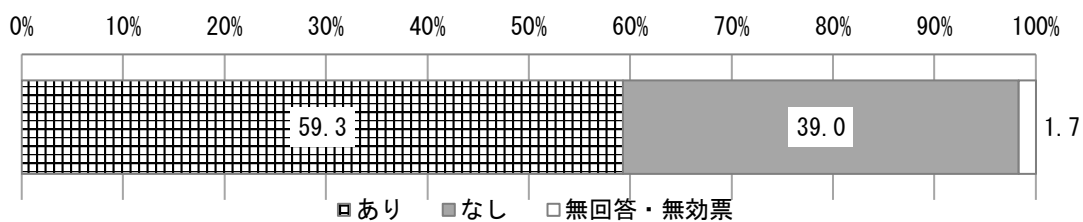
2 自治会町内会館について

【自治会町内会館の有無】

「あり」1,533件（59.3%）、「なし」1,007件（39.0%）となっている。

会館の有無

n=2,583



有無	n=2,583 R2年度		n=2,530 H28年度		n=2,565 H24年度		n=2,589 H20年度	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
あり	1,533	59.3	1,500	59.3	1,481	57.7	1,778	68.7
なし	1,007	39.0	1,011	40.0	1,069	41.7	776	30.0
不明	43	1.7	19	0.8	15	0.6	35	1.4

※H20年度の回答は「あり（所有）」1,341件、「あり（借用）」437件の合計

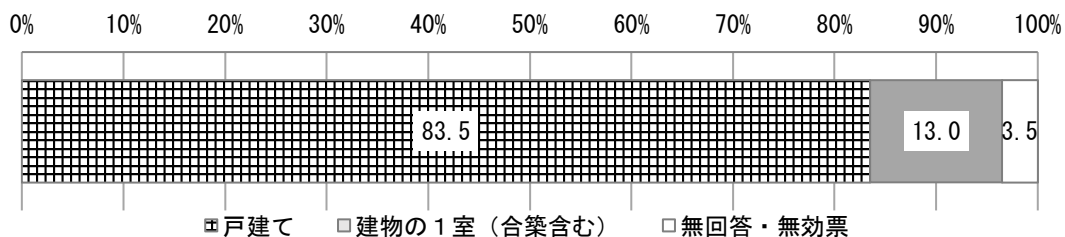
【自治会町内会館の種別】

「戸建て」(83.5%)が最も多く、全体の8割を占める。

戸建ての内訳は「2階建て」(44.7%)が最も多く、次いで「平屋」(39.8%)、「3階建て以上」(3.1%)となっている。

会館の種別

n=1,533



会館の種別内訳

n=1,533

n=1,500

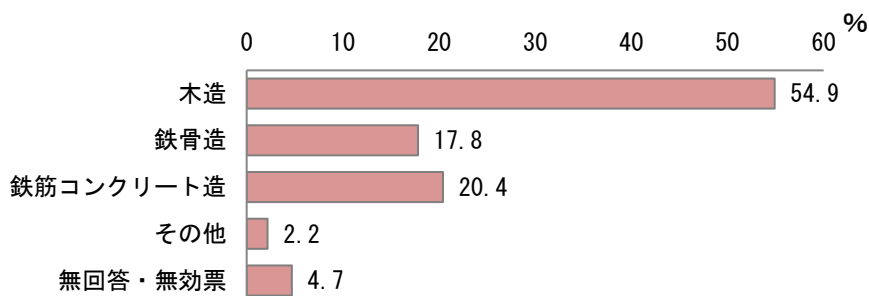
種別	R2年度		H28年度		
	実数	%	実数	%	
戸建て	1,280	83.5	1,275	85.0	
戸建て 階数別 内訳	平屋	510	39.8	495	38.8
	2階	572	44.7	566	44.4
	3階以上	40	3.1	49	3.8
	不明	158	12.3	165	12.9
建物の一室	199	13.0	179	11.9	
無回答・無効票	54	3.5	46	3.1	

【自治会町内会館の構造】

「木造」(54.9%) が最も多く、全体の過半数を占めている。次いで、「鉄筋コンクリート造」(20.4%)、「鉄骨造」(17.8%) となっている。

構造

n=1,533



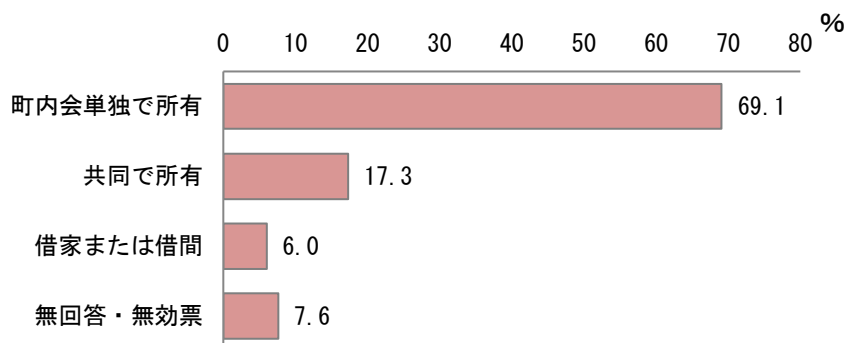
構造	R2年度 (n=1,533)		H28年度 (n=1,500)		H24年度 (n=1,481)		H20年度 (n=1,778)	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
木造	842	54.9	815	54.3	808	54.6	735	41.3
鉄骨造	273	17.8	247	16.5	262	17.7	304	17.1
鉄筋コンクリート造	312	20.4	342	22.8	339	22.9	402	22.6
その他	34	2.2	34	2.3	28	1.9	18	1.0
不明	72	4.7	62	4.1	44	3.0	319	17.9

【自治会町内会館の所有形態】

「自治会町内会単独で所有」(69.1%) が最も多く、次いで「共同で所有」(17.3%)、「借家または借間」(6.0%) となっている。

所有形態

n=1,533



【自治会町内会館の築年数】

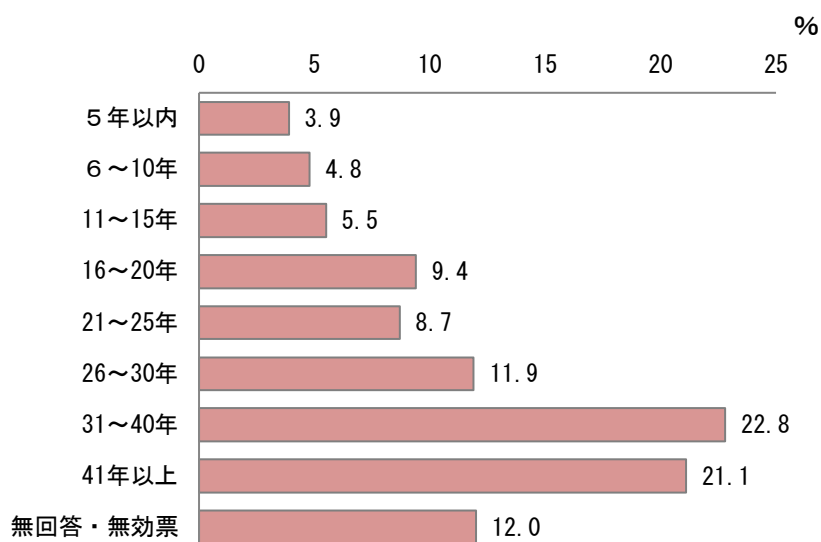
「31年～40年」(22.8%)が最も多く、次いで「41年以上」(21.1%)、「26年～30年」(11.9%)と続いている。

過去調査と比較すると、築31年以上の会館が増加傾向にある。また、「築40年以上」の会館は、「築41年以上」21.1%に「築40年」5.3%を加えた26.4%である。全体の2割を超える会館が旧耐震基準だと思われる。

※建築基準法の耐震基準は、1981年(昭和56年6月)に改正され、それ以前を「旧耐震基準」としている。

築年数

n=1,533



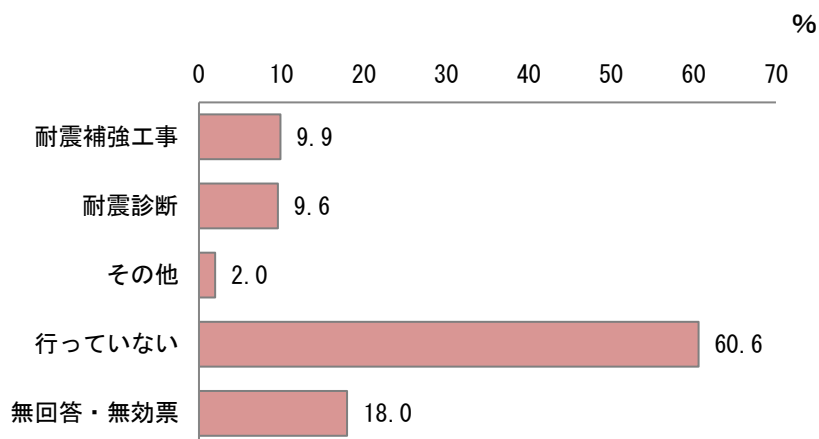
築年数	n=1,533		n=1,500		n=1,481		n=1,778	
	R2年度		H28年度		H24年度		H20年度	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
5年以内	60	3.9	77	5.1	98	6.6	143	8.0
6～10年	73	4.8	114	7.6	110	7.4	183	10.3
11～15年	84	5.5	103	6.9	159	10.7	183	10.3
16～20年	144	9.4	165	11.0	178	12.0	236	13.3
21～25年	134	8.7	159	10.6	176	11.9	201	11.3
26～30年	182	11.9	201	13.4	209	14.1	187	10.5
31～40年	349	22.8	286	19.1	264	17.8	270	15.2
41年以上	323	21.1	277	18.5	170	11.5	158	8.9
不明	184	12.0	118	7.9	117	7.9	217	12.2

【実施した耐震対策】（築40年以上の会館）

「行っていない」（60.6%）が最も多く、次いで「耐震補強工事」（9.9%）と続いている。

実施した耐震対策

n=345（【会館の築年数】の「築40年以上」のうち【会館の所有形態】の「自治会町内会単独で所有」、「共同で所有」を抽出した回答数）

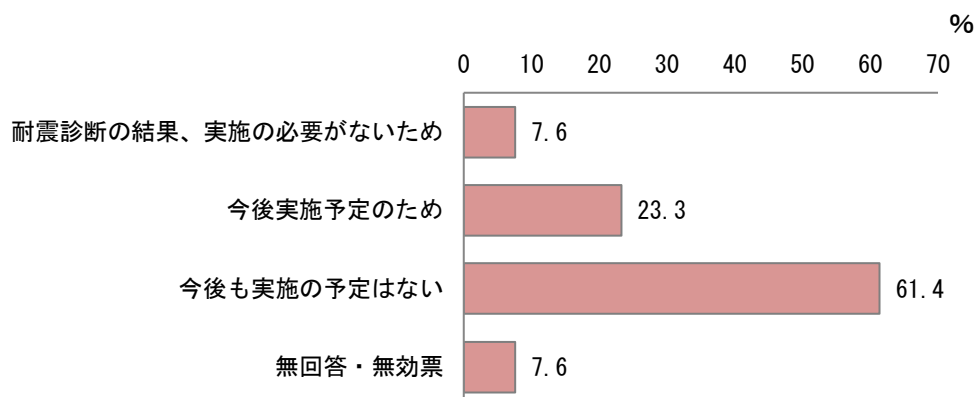


【耐震工事を実施していない理由】（築40年以上の会館）

「今後も実施の予定はない」（61.4%）が最も多く、次いで「今後実施予定のため」（23.3%）と続いている。

実施していない理由

n=249（【実施した耐震対策】の「耐震診断」、「その他」、「行っていない」の回答数合計）

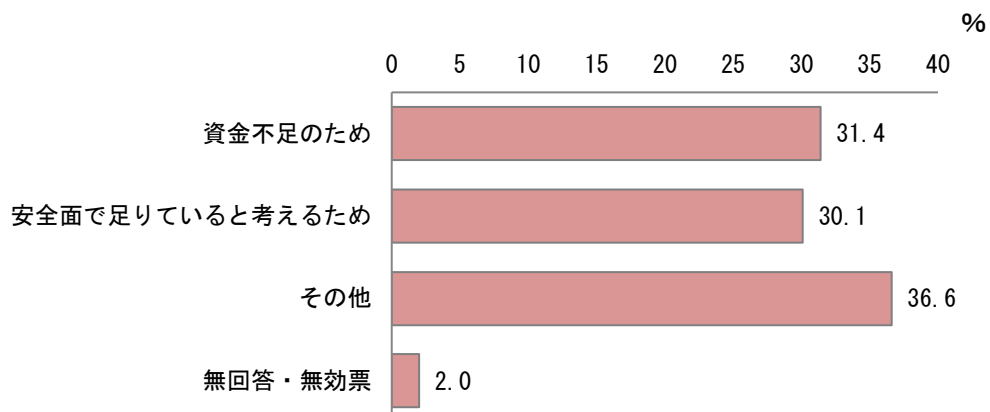


【耐震工事を今後も実施する予定がない理由】（築40年以上の会館）

「資金不足のため」が31.4%となっている。

実施する予定がない理由

n=153（【耐震工事を実施していない理由】の「今後も実施の予定はない」の回答数）



■ 「その他」の主な回答

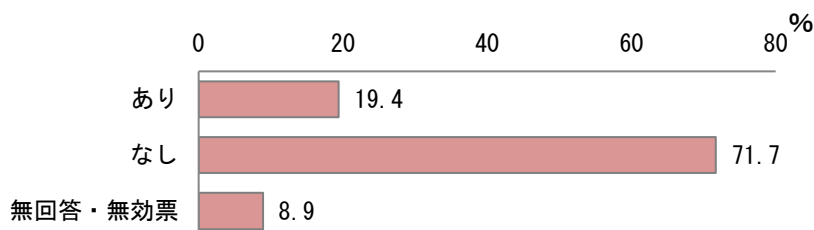
- 建替え予定のため
- 新耐震基準を満たしているため
- 県営・市営の建物のため協議が必要

【自治会町内会館の整備計画について】

「なし」1,853件（71.7%）、「あり」500件（19.4%）となっている。

整備計画の有無

n=2,583

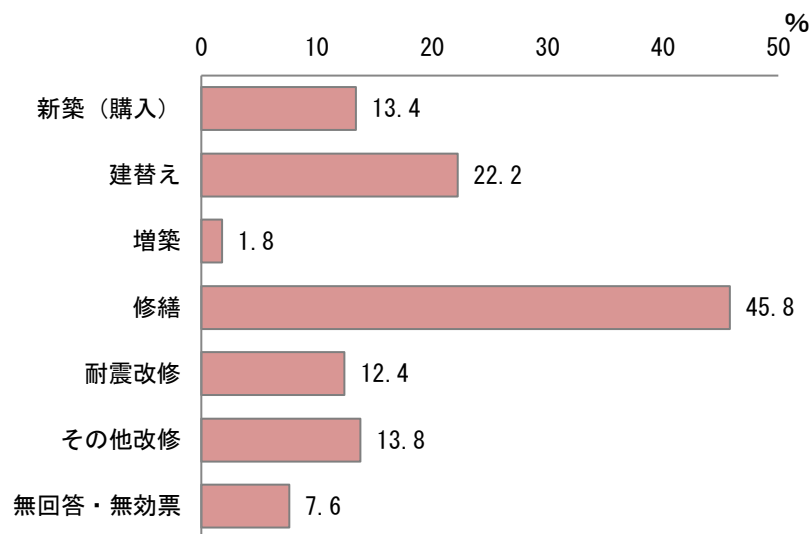


【整備計画の種別】

「修繕」229件（45.8%）が最も多く、「建替え」111件（22.2%）、「その他改修」69件（13.8%）となっている。

整備計画の種別 ※複数回答

n=500



予定年度別の整備計画

整備計画	新築（購入）	建替え	増築	修繕	耐震改修	その他改修
R2年度中	4	2	1	33	5	7
R3年度中	3	5	3	55	2	12
R4年度以降	20	37	1	45	19	10
未定	10	14	1	12	7	6

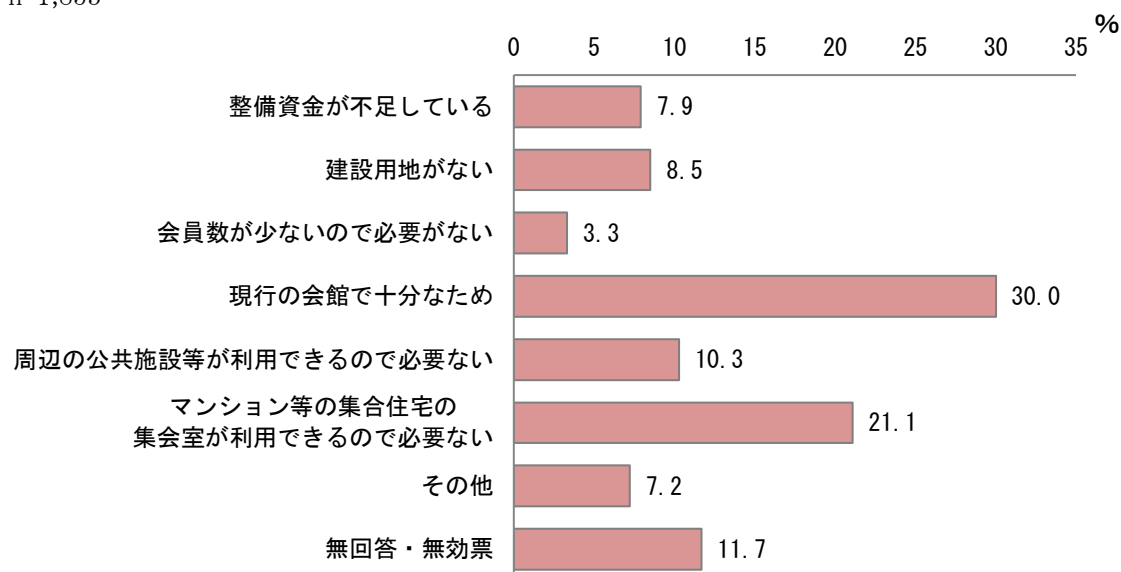
【会館の整備計画がない理由】

「現行の会館で十分なため」(30.0%)が最も多く、次いで「マンション等の集合住宅の集会室が利用できるので必要ない」(21.1%)となっている。

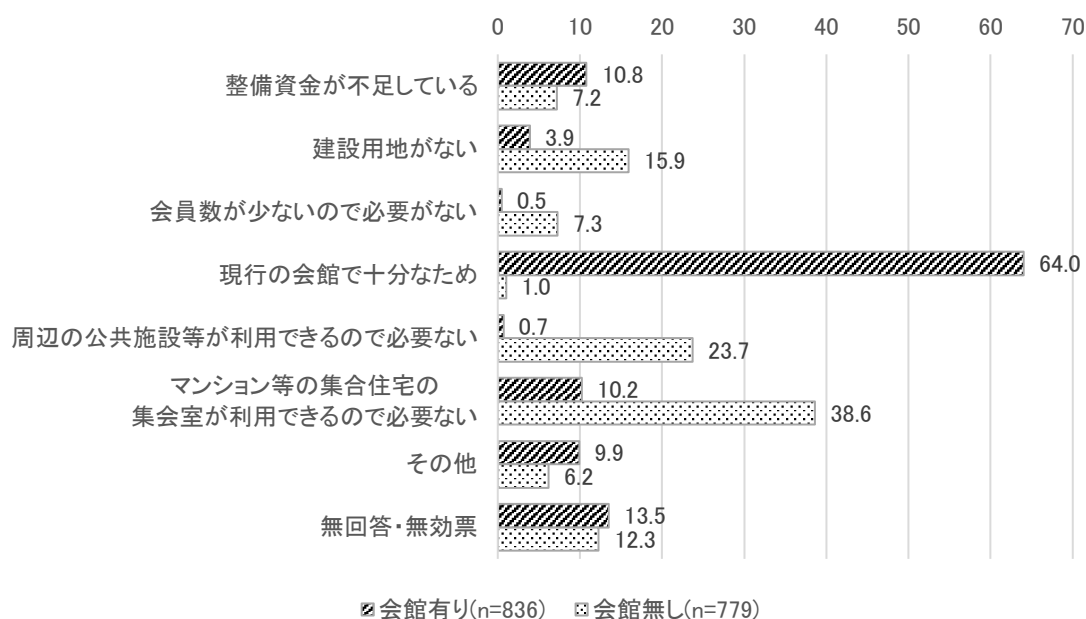
会館の有無別でみると、会館有りでは「現行の会館で十分なため」(64.0%)が最も多いのに対し、会館無しでは、「マンション等の集合住宅の集会室が利用できるので必要ない」(38.6%)が最も多い。

最も大きい理由

n=1,853



整備計画がない理由（会館の有無別）



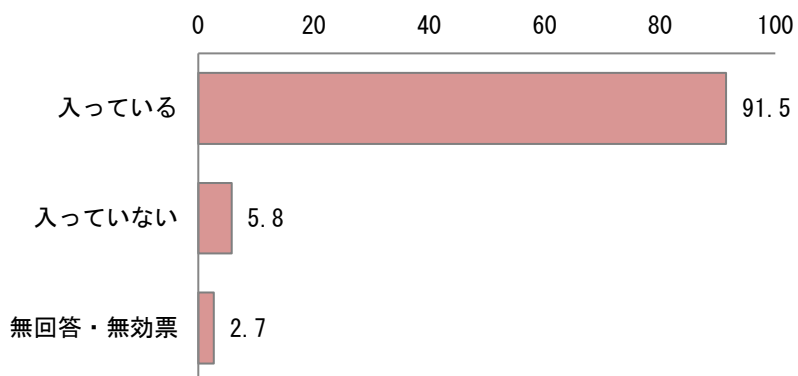
3 地区連合町内会の加入について

【地区連合町内会の加入】

「入っている」2,363件（91.5%）、「入っていない」151件（5.8%）となっている。

加入の有無

n=2,583



■入っていない理由の主な回答

- 会員数が少なく、要員確保が困難であるため
- 理由はわからない
- 加入することでメリットがないため
- 会員や経費の負担が重いため
- 会員の高齢化で、活動に参加することが難しいため

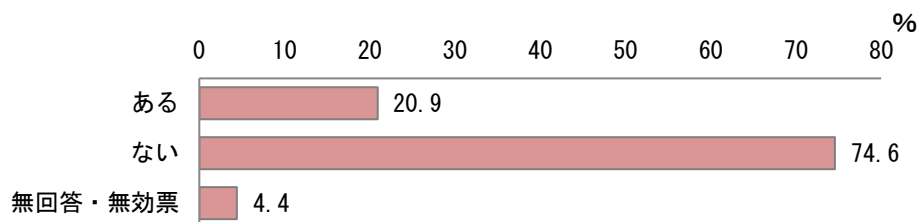
4 地域における防犯カメラの設置について

【自治会町内会が設置した防犯カメラの有無】

「防犯カメラは設置していない」(74.6%)が多く、自治会町内会のエリア別にみると、「町・丁を単位とするなど地域を区域とする自治会町内会」では8割以上の自治会町内会が「設置していない」と回答している。

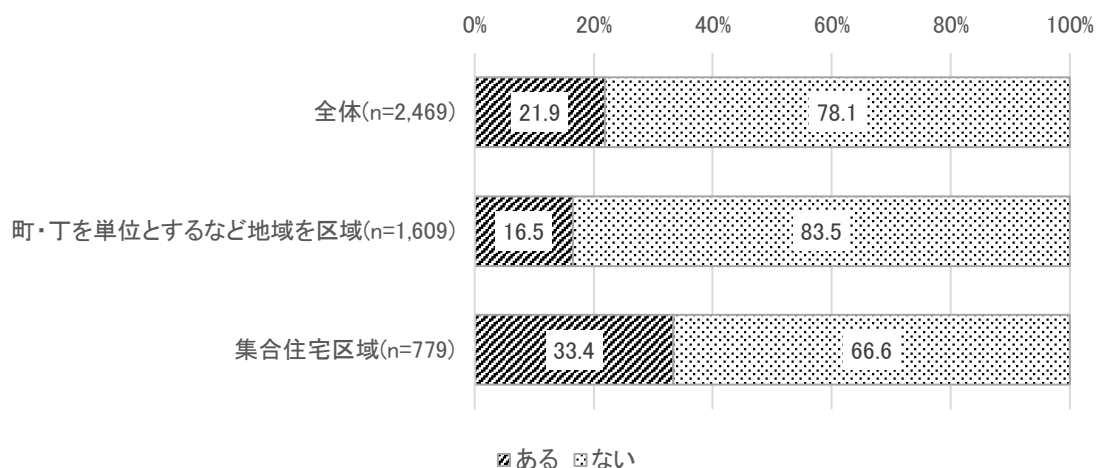
防犯カメラの有無

n=2,583



防犯カメラの有無（エリア別）

※無回答、無効票は除いて計算

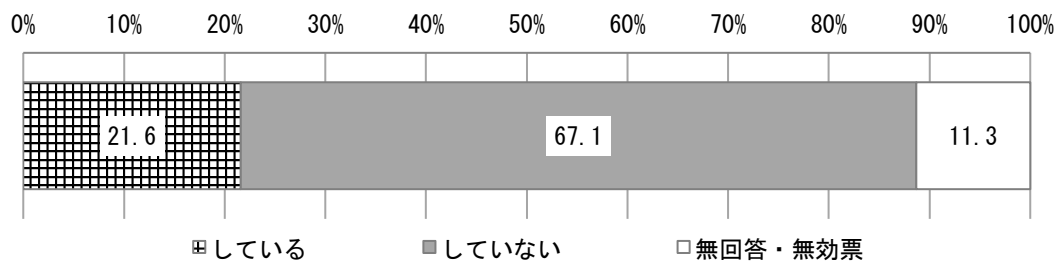


【防犯カメラの設置の検討】

「していない」(67.1%)で、「している」(21.6%)を大きく上回っている。

設置の検討

n=2,583



5 自治会町内会の活動について

【コロナ感染症拡大以前の活動】

最も多かったのは、「実施していた」活動としては、「回覧板などによる情報の共有」(95.3%)で、「今後、さらに力を入れていきたい」活動としては「防火防災活動」(13.9%)である。

活動状況と今後の意向

n=2,583

活動分野	実施していた		今後、さらに力を入れていきたい		縮小又は廃止したい		実施していなかった	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
回覧板などによる情報の共有 (各戸配付、掲示板の管理など)	2,462	95.3	52	2.0	20	0.8	11	0.4
防火防災活動 (避難訓練の実施、防災マップの作成など)	1,926	74.6	360	13.9	35	1.4	179	6.9
防犯活動 (パトロール、防犯灯の見守りなど)	1,891	73.2	179	6.9	58	2.2	379	14.7
街の美化事業 (清掃活動・花壇の設置など)	2,049	79.3	171	6.6	45	1.7	255	9.9
福祉事業 (高齢者や障害者への福祉活動など)	1,559	60.4	337	13.0	43	1.7	548	21.2
会員の健康づくり・スポーツ レクリエーション活動 (ウォーキング会・ラジオ体操・運動会など)	1,647	63.8	209	8.1	71	2.7	574	22.2
子育て支援 (親子の居場所づくりなど)	695	26.9	254	9.8	45	1.7	1,413	54.7
3R夢行動 (ごみの減量、再資源化)	1,722	66.7	298	11.5	28	1.1	443	17.2
温暖化対策 (緑のカーテン設置、啓発活動など)	344	13.3	222	8.6	36	1.4	1,795	69.5
交通安全活動 (登下校時の見守り、啓発活動など)	1,488	57.6	218	8.4	45	1.7	714	27.6
お祭り・イベントの開催 (夏祭り、バス旅行など)	1,949	75.5	109	4.2	83	3.2	383	14.8
仲間・居場所づくり (趣味の会、交流拠点(サロン)など)	1,470	56.9	249	9.6	58	2.2	708	27.4
福利厚生 (会員への慶弔事業など)	2,094	81.1	92	3.6	45	1.7	289	11.2
その他	121	4.7	14	0.5	4	0.2	58	2.2

■ 「その他」の活動で「実施していた」主な回答

- 高齢者、老人会等の支援
- 子ども会、児童との交流

6 コロナ禍における自治会町内会活動について

【コロナ感染症拡大以降の活動】

最も多かったのは、「例年通り実施していた」活動としては「回覧板などによる情報の共有」(81.7%)で、「工夫して実施していた」活動としては「防火防災活動」(33.0%)である。

活動状況

n=2,583

活動分野	例年通り実施		工夫して実施		できていない	
	実数	%	実数	%	実数	%
回覧板などによる情報の共有 (各戸配付、掲示板の管理など)	2,110	81.7	396	15.3	58	2.2
防火防災活動 (避難訓練の実施、防災マップの作成など)	486	18.8	852	33.0	1,149	44.5
防犯活動 (パトロール、防犯灯の見守りなど)	1,125	43.6	570	22.1	796	30.8
街の美化事業 (清掃活動・花壇の設置など)	1,260	48.8	674	26.1	580	22.5
福祉事業 (高齢者や障害者への福祉活動など)	629	24.4	755	29.2	1,081	41.9
会員の健康づくり・スポーツ レクリエーション活動 (ウォーキング会・ラジオ体操・運動会など)	272	10.5	496	19.2	1,701	65.9
子育て支援 (親子の居場所づくりなど)	158	6.1	341	13.2	1,887	73.1
3R夢行動 (ごみの減量、再資源化)	1,357	52.5	437	16.9	677	26.2
温暖化対策 (緑のカーテン設置、啓発活動など)	176	6.8	187	7.2	2,008	77.7
交通安全活動 (登下校時の見守り、啓発活動など)	1,129	43.7	385	14.9	932	36.1
お祭り・イベントの開催 (夏祭り、バス旅行など)	128	5.0	179	6.9	2,184	84.6
仲間・居場所づくり (趣味の会、交流拠点(サロン)など)	241	9.3	657	25.4	1,556	60.2
福利厚生 (会員への慶弔事業など)	1,579	61.1	431	16.7	494	19.1
その他	44	1.7	55	2.1	79	3.1

■「その他」の活動で「工夫して実施した」主な回答

- 高齢者、老人会等の支援
- 子ども会、児童との交流

【コロナ禍における活動の工夫】

1,419 団体から挙げられた 2,021 件の意見を次の通り分類・集計した。

() は内数

コロナ禍における活動の工夫	件数
「活動の縮小」に関すること (活動頻度・人数・時間の縮小、3密対策)	1,162
「衛生対策」に関すること (衛生対策の徹底、マスクや消毒液等の配布 など)	619
「代替活動」に関すること	215
「代替活動の実施」に関すること	(158)
「ICT の活用」に関すること (リモート会議・オンラインイベントの開催 アプリやホームページ等を活用した情報伝達 など)	(57)
その他 (家に閉じこもり過ぎないように声かけ など)	25
合 計	2,021

コロナ禍における活動の工夫（抜粋）

《衛生対策・活動の縮小》

- ・参加人数を絞る。消毒液の準備。役員が体験・確認。(公園清掃など) 活動の行う必要性や、行う意義をしっかりと説明。三密を避ける努力。
- ・「3密」を回避、検温・マスクの着用・テーブル等の除菌シートを使用しての消毒。コロナ感染者が発生した時における追跡調査ができるように「参加者名簿」を作成、保管管理している。

《衛生対策・活動の縮小・代替活動》

- ・回覧板に触りたくないという方の為に、回覧をパスできるようにした。公園の清掃活動は3密を避けるために当初は自治会幹事有志のみで実施。屋外の作業であることから、ソーシャルディスタンスをとって作業することで通常の清掃体制に移行。高齢者を対象としたお祝い会は三密の恐れがあるため中止し、記念品贈呈のみ実施。

《活動の縮小・ICT の利用》

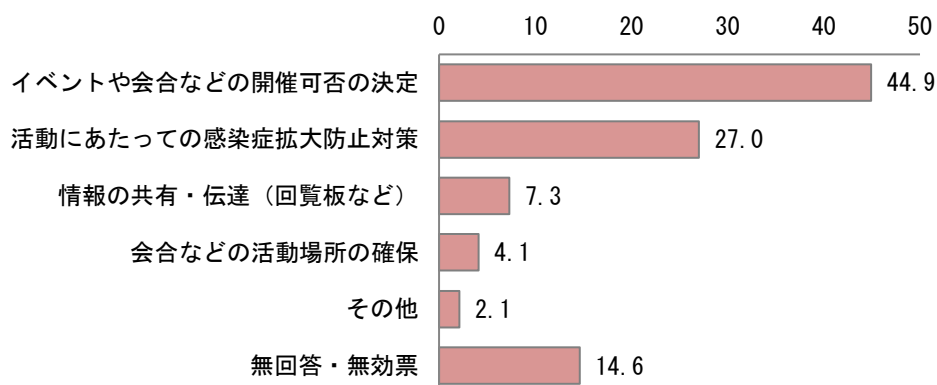
- ・会議は人数を減らして、開催(会議を行う前にネット、ラインで打ち合わせをしてから)し、定例会の内容などもラインなどで困り事を聞いた。
- ・防災パンフレットを各戸配布。ホームページにて音声入りで公開。緊急事態宣言下では役員会中止につき、会長からの情報は YouTube にて提供(又はDVDで役員に提供)。
- ・ホームページやライン公式アカウントを利用して情報を発信している。可能な場合は ZOOM を使ってオンライン会議を実施した。

【活動の中で苦労したこと】

「イベントや会合などの開催可否の決定」(44.9%)が最も多く、次いで「活動にあたっての感染症拡大防止対策」(27.0%)、「情報の共有・伝達(回覧板など)」(7.3%)となっている。

苦労したこと

n=2,583



【活動において新しく始めたこと】

658 団体から挙げられた 717 件の意見を次の通り分類・集計した。

新しく始めたこと	件数
《ICT の活用》 オンライン会議やイベントの実施、Wi-Fi 設置等の準備、 活動のデジタル化、SNS やメール、ホームページの活用 など	288
《コロナ対策の実施》 3密回避、衛生対策の徹底、マスクや消毒液等の配布 など	225
《活動内容の変更》 備品の整理等の日常的活動の充実 など	137
《会議の書面決議》	40
《情報の共有、連絡》 回覧方法の見直し、掲示板の活用 など	27
合 計	717

新しく始めたこと（抜粋）

- ・グループウェア、役員会自由エントリー制、ZOOM を導入し、役員会を完全オンライン化した。IT 支援をする専門チームを新設した。
- ・総会等会議体の開催方式を変更した（書面審査等集合しないで開催）。マスク等の入手が困難な家庭の把握とその対応を行った。

【活動において新しく始めたいこと】

604 団体から挙げられた 643 件の意見を次の通り分類・集計した。

新しく始めたいこと	件数
《ICT の活用》 オンライン会議やイベントの実施、Wi-Fi 設置等の準備、 活動のデジタル化、SNS やメール、ホームページの活用 など	383
《活動の再開、会員加入促進》 例年同規模のイベント開催、若い世代の町内会加入・参加の促進 など	206
《コロナ感染症対策の実施》 3密回避、衛生対策の徹底、マスクや消毒液等の配布 など	37
《情報の共有、連絡》 情報共有方法の検討、回覧・掲示板の活用方法の検討 など	17
合 計	643

新しく始めたいこと（抜粋）

- ・ZOOM を住民コミュニケーションの新しいインフラとして整備する。
- ・町 café（今のサロンは高齢者が主なため、世代間交流を図りたい）
- ・役員の負担を減らす。非接触可能な事は、その方法でできるか、検討中。（集金を個別で回収から口座振替へ変更）

【新しく始める（始めたい）取組について、課題や支援が必要なこと】

511 団体から挙げられた 627 件の意見を次の通り分類・集計した。

() は内数

課題や支援	件数
《ICT 活用》	409
《ハード面の課題や支援》 PC や回線等の環境整備の費用 など	(168)
《ソフト面の課題や支援》 IT に関する知識や人材の不足、システム使用の教育 など	(241)
《人員不足》 会員の不足、高齢化・若い世代の不足	49
《活動場所》 使用できる会館がない、会館が近隣にない など	20
《コロナ感染症対策》 対策が困難、活動開催の判断基準の提示 など	18
《その他 取組についての支援》 ほかの町内会との交流の支援 など	93
《その他 取組についての課題》 会費等の集金方法、コロナ禍における住民間の交流不足 など	38
合 計	627

課題や支援（抜粋）

<p>《ICT 活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デバイス所有の有無に影響されないように、一律にタブレット等を配布できないか考えているが、費用がかさむ。アプリ開発や指導を考えると、一自治会では負担が大きいので、行政側で一部負担、共同開発等をして頂けないか。 <p>《人員不足》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組（班）の統合、合併を考えています。班長（組長）のなり手がいないなど、高齢化に伴い近年困っていて、アドバイザーの意見などいただけたらと思っています。 <p>《活動場所》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度に多くの人が集まれるような場所（会館の増築）の確保。 <p>《コロナ感染症対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大したらと不安で何も動けない状況です。活動されている方々がどのような対策をしているか具体的な例があったら情報として知りたいです。 ・イベント開催可否の基準がわからないので、具体的な基準が欲しい。 <p>《その他 取組についての支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動の活性化の参考になる取り組みを紹介してほしい。その町内会と交流し、できそうなことは取り入れたい。 <p>《その他 取組についての課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的、新興の地域であるためか近所との付き合いが疎遠。自治会内での交流も限られている。

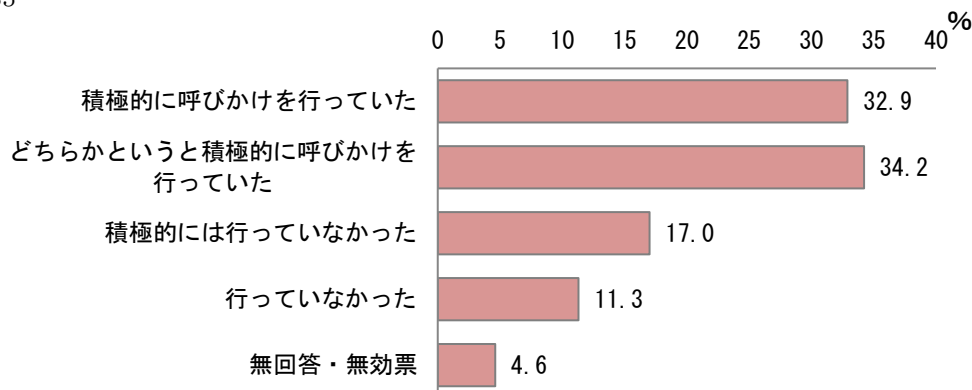
7 自治会町内会への加入に向けての取組について

【未加入者に対する勧誘】

「どちらかというとも積極的に呼びかけを行っていた」(34.2%)が最も多く、「積極的に呼びかけを行っていた」(32.9%)をあわせると、全体の約7割となっている。

加入の勧誘

n=2,583



【未加入者に対して実施していること】

「訪問して勧誘」(65.1%)が最も多くなっている。

実施していること ※複数回答

取組内容	n=2,172		n=2,205		n=2,565	
	R2年度 実数	%	H28年度 実数	%	H24年度 実数	%
訪問して勧誘	1,414	65.1	1,570	71.2	1,532	59.7
パンフレットなどをポストへ投函	786	36.2	860	39.0	901	35.1
お祭りやイベントのときに パンフレットなどを配布	364	16.8	488	22.1	556	21.7
その他	375	17.3	316	14.3	129	5.0
無回答・無効票	72	3.3	66	3.0	93	3.6

■ 「その他」の主な回答

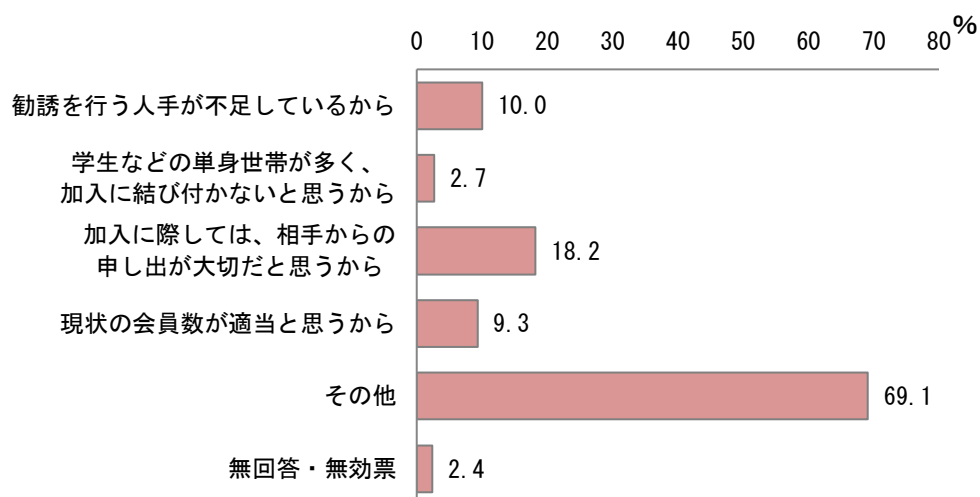
- 管理組合や建物のオーナーに勧誘を依頼
- 回覧や掲示板、ホームページの掲示物による勧誘

【加入の取組を行っていない理由】

「加入に際しては、相手からの申し出が大切だと思うから」（18.2%）が最も多く、次いで「勧誘を行う人手が不足しているから」（10.0%）となっている。

行っていない理由 ※複数回答

n=291



■ 「その他」の主な回答

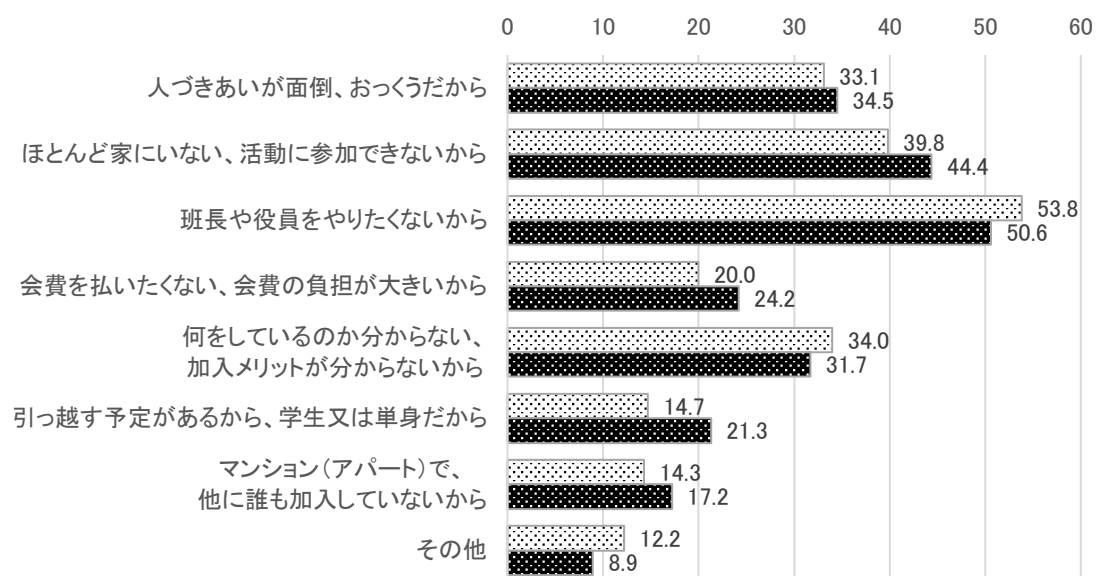
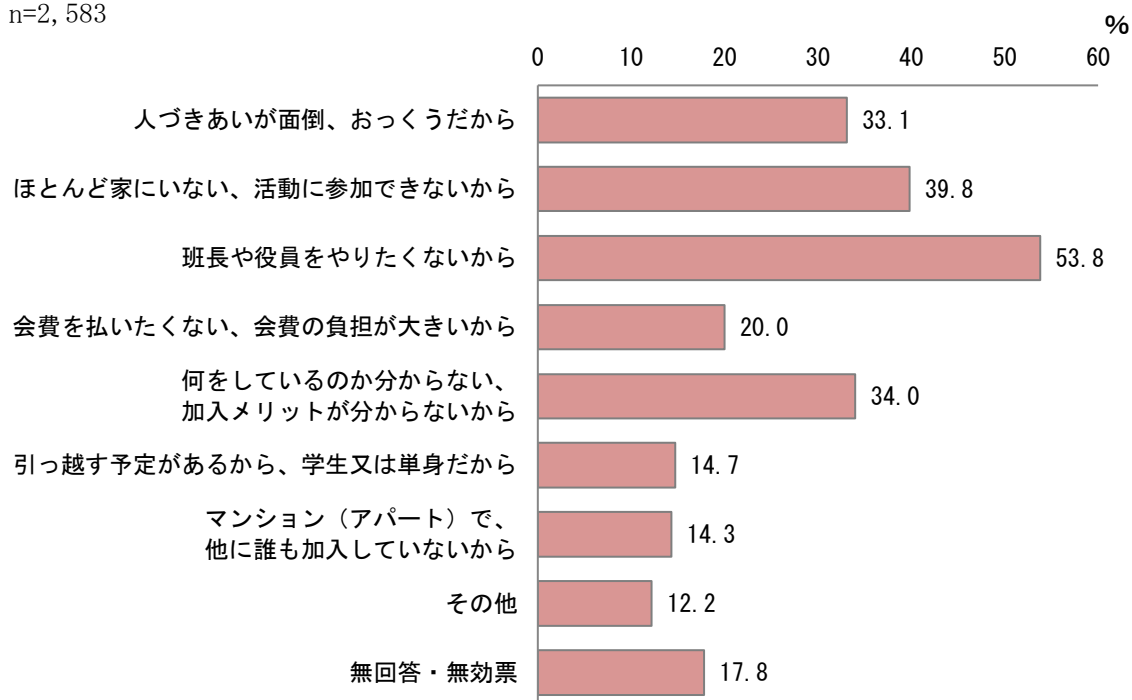
- 入居の際、加入となるから
- 全戸加入済みだから

【加入をしない（断られる）理由として聞き及んでいる項目】

「班長や役員をやりたくないから」（53.8%）が最も多く、次いで「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」（39.8%）、「何をしているのか分からない、加入メリットが分からないから」（34.0%）となっている。

加入をしない（断られる）理由 ※複数回答

n=2, 583



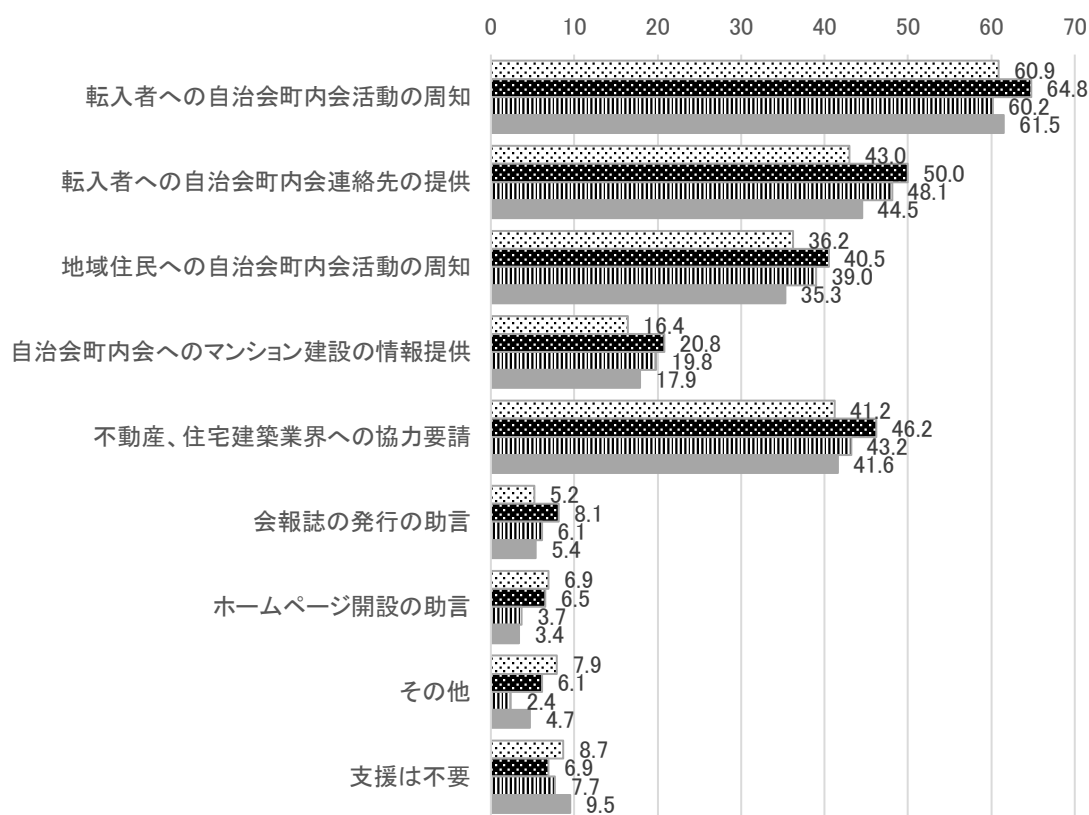
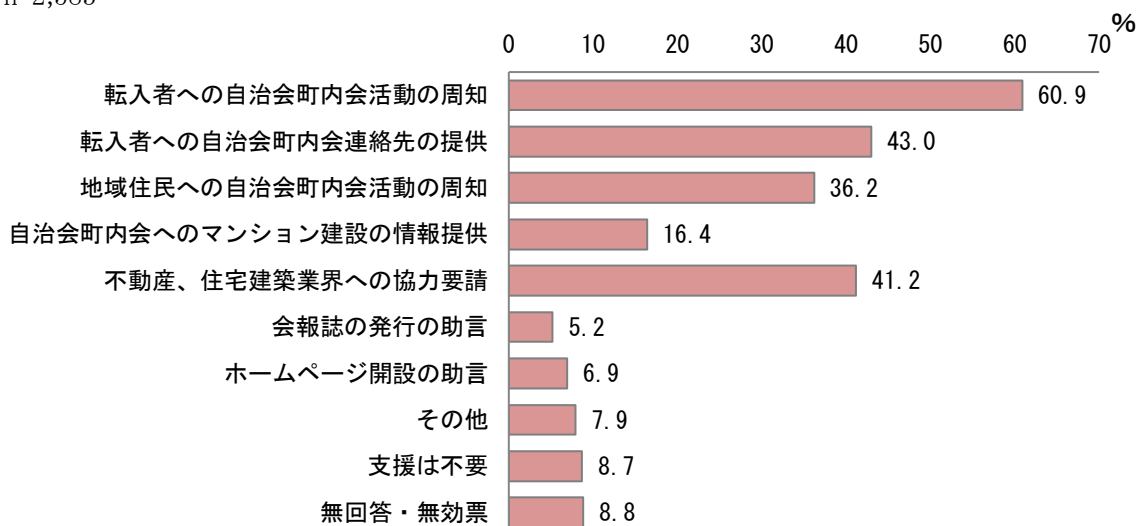
□ R2年度(n=2,583) ■ H28年度(n=2,530)

【自治会町内会への加入に向けて、行政の支援として有効と考えられる項目】

「転入者への自治会町内会活動の周知」(60.9%)が最も多く、次いで「転入者への自治会町内会連絡先の提供」(43.0%)、「不動産、住宅建築業界への協力要請」(41.2%)と続いている。

行政支援として有効と考えられる項目 ※複数回答

n=2,583



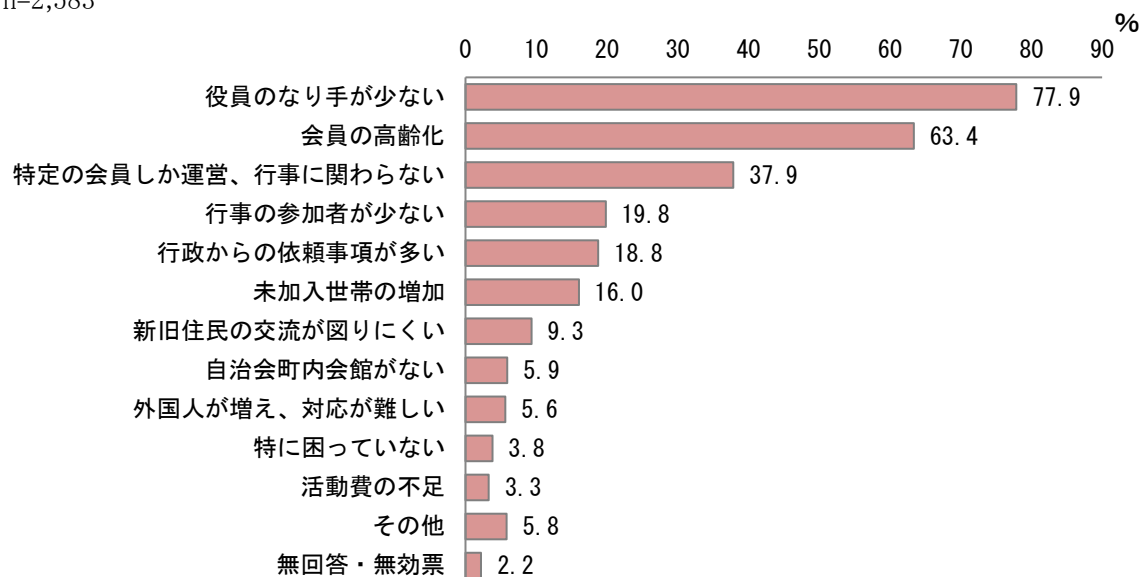
□ R2年度(n=2,583) ■ H28年度(n=2,530) ▨ H24年度(n=2,565) ■ H20年度(n=2,589)

8 自治会町内会の運営上の課題について

「役員のなり手が少ない」(77.9%) が最も多く、次いで「会員の高齢化」(63.4%)、
「特定の会員しか運営、行事に関わらない」(37.9%) となっている。

運営上の課題 ※複数回答

n=2,583



課題	R2年度 (n=2,583)		H28年度 (n=2,530)		H24年度 (n=2,565)	
	実数	%	実数	%	実数	%
役員のなり手が少ない (役員の高齢化・負担が大きいなど)	2,012	77.9	2,042	80.7	1,971	76.8
行事(お祭りなど)の参加者が少ない (内容のマンネリ化など)	511	19.8	576	22.8	550	21.4
未加入世帯の増加	414	16.0	464	18.3	414	16.1
会員の高齢化	1,638	63.4	1,637	64.7	1,508	58.8
特定の会員しか運営、行事に関わらない	978	37.9	956	37.8	970	37.8
活動費の不足	85	3.3	164	6.5	149	5.8
自治会町内会館がない	152	5.9	162	6.4	262	10.2
行政からの依頼事項が多い	486	18.8	827	32.7	697	27.2
新旧住民の交流が図りにくい	240	9.3	167	6.6	225	8.8
外国人が増え、対応が難しい (生活習慣の違い・言葉の問題など)	145	5.6	83	3.3	84	3.3
その他	151	5.8	184	7.3	110	4.3
特に困っていない	97	3.8	103	4.1	51	2.0
無回答・無効票	56	2.2	323	12.8	22	0.9

【役員のなり手を増やすための工夫】

1,078 団体から挙げられた 1,090 件の意見を次の通り分類・集計した。

役員のなり手を増やすための工夫	件数
《呼びかけ対象の工夫》 PTA・子ども会などからの人材確保、口コミ、行事を開催して勧誘、日ごろの声かけ	407
《運営・魅力づくり》 マニュアル作成、業務の分担・削減、役員数の削減、行事の削減、報酬、サポート体制づくり	376
《役員の決め方の工夫》 輪番・当番制、抽選、推薦、任期の限定	304
《その他》	3
合 計	1,090

役員のなり手を増やすための工夫（抜粋）

《呼びかけ対象の工夫》

- ・大きな行事に家族を取り入れる、若手の活動を利用する。
- ・昨年連合（行政）が中心になって行ったアンケート調査を利用して興味のある方を訪問し、担い手を探した。
- ・若手の参加を望んでソフトボール大会に参加し親睦を深め役員に勧誘、現在役員になってくれた方もあり、実効があったか。その他の行事（もちつき、夏祭り等）でも参加者に声かけ、同じく親睦を深めることを心がけた。
- ・婦人部、理事などに声をかけて、きめ細かい情報収集をしている。
- ・毎月発行の会報紙に役員募集広告を載せた。今後も続け次回には職務内容、見返り等も載せる予定。
- ・現役員は殆んどが 65 才以上、若手の役員候補について子ども会役員の家族等、自治会行事に協力してもらおう中で育てていく。

《運営・魅力づくり》

- ・役員は会社員が多く 20:30 以降の打ち合わせになるため、町内会費より手当や昼食・夜食代を支給した。
- ・役員を多くし、個人の負担を少なくして、無理なく参加できるよう努力している
- ・人数をギリギリまで減らして、イベントも小さくして、負担を減らす。役員が楽しくできるような配慮。

《役員の決め方の工夫》

- ・町内会の副会長、部長、副部長より町内会役員にこの人がよいと言う人を推薦してもらい、その後会長より推薦された人に役員要請をする。かなりの効果があります。
- ・輪番制を取りできる限り役員経験をしてもらう。
- ・役員任期を最低 2 期務めてもらうことで、役割の面白さに気づいてもらえるようにしている。1 期だけで終わってしまうと義務感だけが残る。

【行事の参加者を増やすための工夫】

947 団体から挙げられた 996 件の意見を次の通り分類・集計した。

行事の参加者を増やすための工夫	件数
《広報の工夫》 ポスターの掲示、回覧、ホームページ上での告知、ロコミ・声かけ、直接勧誘	497
《活動・行事内容の工夫》 子どもや若者を対象とした内容の工夫、参加賞や景品の提供、参加しやすい日時の工夫、食事の用意	368
《他団体との連携・声かけ》 子ども会、老人会、学校、他の町内会	109
《その他》 自治会内アンケート調査の実施など	22
合 計	996

行事の参加者を増やすための工夫（抜粋）

《広報の工夫》

- ・ポスター掲示（楽しみのあるポスター）。子ども育成会、婦人部を通じ広く周知。
- ・防災マニュアルを全戸配布した結果、住民総参加の防災訓練に多くの人が参加している。
- ・回覧板、掲示板等で PR を実施しています。
- ・常に新しい情報を配信して、（ポスター、ちらし、インターネット、LINE）リアルタイムで気軽に参加できる雰囲気と声かけを重視しています、特に町内の美化には、子ども達も参加しやすいです。
- ・イベントの今迄の既参加者には必ず声かけし、その人づても利用（コミュニケーション）。

《活動・行事内容の工夫》

- ・防災訓練では、防災グッズの配布を宣伝したら大勢集まった。
- ・参加すると「いいことがある」「楽しかった」など次も参加してみようと思ってくれるように内容、「おみやげ」など工夫している。予算的に厳しい状況だが、おみやげは効果があると思う。
- ・魅力的なチラシ、イベントのオンライン化、チラシの全戸配布、街の一体感の醸成、などにより参加者は増えています。
- ・お勤めの方たちがなるべく参加できる曜日、時間帯を選んで工夫しています。

《他団体との連携・声掛け》

- ・常に色々な会や団体とコミュニケーションを取り情報の交換をしている。
- ・夏祭りは町会、老人会、子ども会、中学生（ビンゴゲーム）で役割分担を決め総出で開催。年末パトロールでは、女性部の協力により、豚汁や、すいとんを提供。
- ・従来開催した盆踊り等を止め近隣高校の協力により、ダンス部のよさこいソーラン（120 名参加）、翌々年には吹奏楽部による、路上演奏会（140 名）。趣向を変えて実施。住民や各方面から見学者が多く好評である。
- ・夜警、もちつき、祭り、運動会（町内対抗）などに子ども会に協力してもらい、子どもの為なら、両親も出てくれるので、それをきっかけに町内会に協力してくれるようになる。新旧住民の交流も図れる。

【加入世帯数を増やすための取組や工夫】

735 団体から挙げられた 829 件の意見を次の通り分類・集計した。

加入世帯数を増やすための取組や工夫	件数
《個別訪問など転入者・未加入者への働きかけ》 訪問、声かけ、直接勧誘、転入者情報の入手	315
《広報活動》 チラシ・ポスターの作成、回覧、会報紙の配付	195
《アパート・マンションへの働きかけ》 管理会社、建設業者、オーナーへ交渉	114
《行事の開催》 行事実施・PR、未加入者への行事案内	91
《ご意見・その他》 全員加入済み、加入促進に関する意見、日ごろの挨拶など関係構築	114
合 計	829

加入世帯数を増やすための取組や工夫（抜粋）

《個別訪問など転入者・未加入者への働きかけ》

- ・管内パトロールの度、新しく引っ越してきたお宅をチェック。不定期に会館へ集まってもらい、自治会活動について説明し加入要請を行なっている。
- ・新規転入者を把握次第組長と赴き、私の作成した「ごあいさつ」文と規約を持参し、転入のお祝いを述べると共にその場で町内会加入を願い、OK を得たら年会費を納めていただくなど、組長負担を軽減するとともに、宣伝マンとして動いていること。
- ・新しく引越してこられた方には面談し、町内会の活動や会費など書いた説明書を渡し、入会と協力をお願いしている。イベントのある時には必ず声かけをして、参加を呼び掛けている。

《広報活動》

- ・未加入者に加入のお願い、町内会費、年間行事等を記入し、往復手紙でポストイングによって全世帯加入してくれた。
- ・町会独自の広報紙を作り、7年程前から回覧や掲示板で町内会の様子を広報している。町民の方達が町内会の運営を理解してくれるようになってきた。
- ・広報活動、ことにネットを通じた町内会の活動のよびかけを始めようと検討している。又、掲示板をガラスの扉をつけるように修理をし、整備している。

《アパート・マンションへの働きかけ》

- ・新しく出来るマンションには、管理組合へ。又賃貸マンションの場合は全戸へ加入の要望等しております。
- ・分譲マンションの工事説明の時は、工事協定書を取り交わす。その時に自治会加入の要請、マンションの入居規約にも自治会加入の文言を入れてもらう。

《行事の開催》

- ・地域住民として困った時にお互いに助け合いが出来るよう、親睦行事の実施を行っている事と高齢者の増化による支え合いを推進している事を伝えている。
- ・環境面で例えばマンション内の清掃を徹底し、緑を少しでも多くし美化に努め、好印象を持たれる事が大事と思う。

《ご意見・その他》

- ・当団地マンション内、広場や公園などで子育て世代の方へ聞き取り調査やフリーディスカッションの場を設けた。

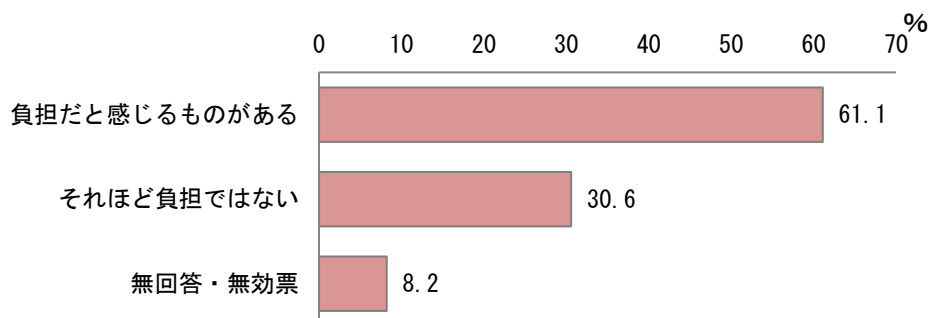
9 行政からの依頼事項について

【行政からの依頼】

約6割が「負担だと感じるものがある」と回答している。

行政からの依頼

n=2,583

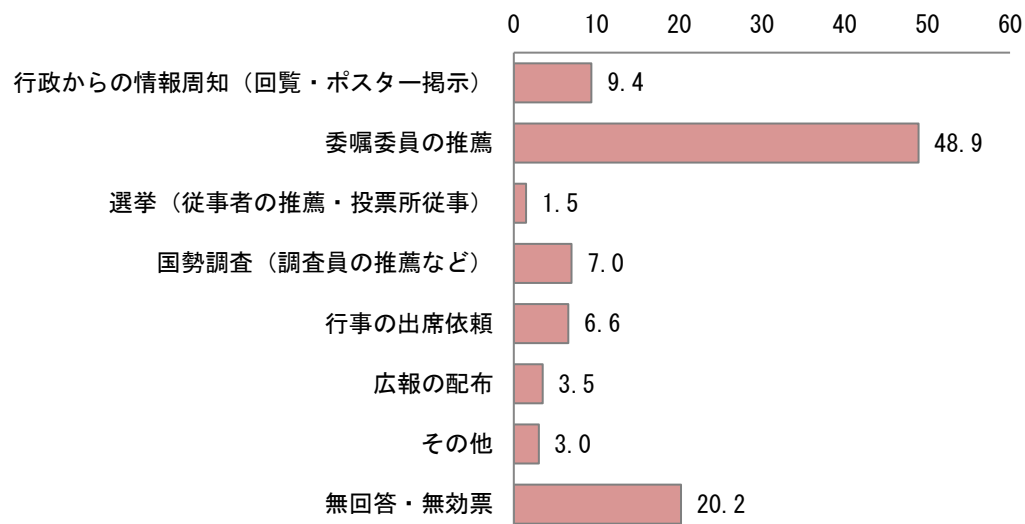


【最も負担に感じる依頼】

「委嘱委員の推薦」(48.9%)が最も多く、次いで「行政からの情報周知」(9.4%)、「国勢調査」(7.0%)となっている。

負担に感じる依頼

n=1,579



【行政からの依頼事項に関するご意見】

764 団体から挙げられた 795 件の意見を次のとおり分類・集計した。

政からの依頼事項に関するご意見	件数
《委嘱委員・選挙・国勢調査》 委嘱委員・投票管理者・国勢調査員のなり手の不足 など	255
《行政からの情報周知》 配布物・掲示物の多さ（種類・頻度・数量） 広報資料の仕様 など	230
《行政からの依頼》 依頼に対する意見（内容・方法・数量） 高齢化等の会員の不足による 対応難 行政と自治会の業務の線引き など	172
《各種申請や情報伝達の簡素化》 活動補助金申請の電子化 決算報告等の行政との情報伝達の簡素化 など	41
《行事・会議参加》 行事・会議の時期や頻度、時間帯 など	29
《その他》	68
合 計	795

依頼事項に関するご意見（抜粋）

<p>《委嘱委員・選挙・国勢調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱委員の定年制（70 才）の廃止を希望。役員不足の現状、本人健康で意欲あれば続けて頂きたい。 ・各種委嘱委員には、住民生活の質向上に資するとの公益的な委員もあるが、昔は求められた活動も今や時代が変容し、見直すべき委員活動もあるのではと思う。委員の狙いは、習得した知見を地元住民へ広く周知していくことと思うが、委員個人の習得だけに実態は留まっている。 <p>《行政からの情報周知》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナにより回覧がなくなったが、全く不便を感じていないとの声を住民から聞く。再開にあたっては、本当に必要なもののみを回覧、あるいは掲示としてほしい。 ・デジタル庁もできるので、パソコン、スマホ等による広報、情報提供をもっと進めるべきである。 <p>《行政からの依頼》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役所（国、県、市）の末端組織という印象が強いので、あくまでもボランティアであるという点を重視して、ボランティアを育成する、ボランティアを活用するために募集をするなどの展開をしてほしい。 ・高齢化と共働きの方々が多く、行政からの依頼に対してお答えすることが困難になってきている。行政で出来る限り活動して下さるようお願いしたい。 <p>《各種申請や情報伝達の簡素化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項についてはもっとインターネットを利用し、書面によるものを減らしていただきたい（国のデジタル化政策にもっと乗っていけば良いと思う）。 <p>《行事・会議参加》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労者が増加している状況で、平日昼間に開催される会議、行事等への参加が難しい。開催の必要性、開催頻度、開催時間等について再検討願いたい。 <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の自治会の活動状況を知らせて欲しい。
--

10 自治会町内会活動に関するご意見（自由記入）

834 団体から挙げられた 1, 120 件の意見を次のとおり分類・集計した。

自治会町内会活動に関するご意見	件数
《行政への要請・依頼》 補助金申請、手続きの簡略化、回覧等の減量、資料・書類のデジタル化	298
《活動内容》 実施している取り組みや活動の充実・活性化、参加者の増加、他団体との連携、防災関連、ごみ処理等の不満 など	222
《会長・役員》 役員の担い手不足、会長・役員の負担が大きい、役員の高齢化、現役役員の負担感、意志の統一 など	191
《加入促進、自治会町内会離れ》 自治会加入拒否、会費支払い拒否、自治会加入のメリット、参加意識の低下 など	148
《少子高齢化、若年層・中間層不足》 会員の高齢化、少子化、若年層の転出 など	143
《コロナ感染症》 コロナ感染症に関する課題、現状 など	60
《その他》 自治会の解散、自治会内のトラブル など	30
《会館・施設》 会館・集会所、活動場所、防災倉庫、公園 など	20
《自治会町内会の適正規模》 大規模自治会、小規模自治会、区域、自治会同士の合併 など	8
合 計	1, 120

自由意見（抜粋）

《行政への要請・依頼》

- ・町内会＝居住地、店舗併用住宅とする行政の姿勢諸依頼では非居住人を含む地域では町会運営に無理が生ずる、商業地域に対する対応も考慮下さい。
- ・自治会（単体・連合）のくくりの見直しなどは、行政主導でできないのでしょうか。同じようなことを各自治会がやっているのです。
- ・任意団体としての町内会の行政との関わり、社会的な立場を明確に、また、シンプルにしてほしい。町内会はあくまでも地理的な条件に基づくくくりであるが、社会活動はボーダレス化しており、オンライン／ネットの利用により行政が直接市民と接することも可能となっている。
- ・自治会の将来を見据えて、役所との報告物等、少しずつオンライン化してはどうか。現役で働いている人は、役所へは足を運べないが、オンライン参加はできる。

《活動内容》

- ・温暖化対策、子育て支援などは自治会、町内会の枠組みに絞るのではなく、複数の自治会でグループ化し、専門家の指導のもと、活動する方法が有意義かと思います。
- ・これからの町会活動は、パソコン、SNSなどを使った運営が求められると思われます。それらの機器をどう調達し、どう活用していくかが課題と思われます。

- ・町内会でやるべきこと、やってほしい事を話し合っ暮らしやすい、お互いが助け合った町内会の活動をしたいと思います。
- ・自分たちがやりたいことを見直すためコロナに便乗して1年の活動休止を選択しました。来年からは自分達に必要なもの、やりたい事だけを自分たちで選んでやりたいと考えていきます。
- ・予想されている災害に備えて、地域で人と人との関係を密にしておくこと、自助は当然のこととして、共助の関係を高めておくことが中心課題だと考えています。
- ・この度、会合をやめてインターネットで必要な会話をしていますが、これについては大賛成で、コロナ後も継続を希望しています。

《会長・役員》

- ・自治会活動を個人活動として終わらせず、組織活動として、継続する難しさを感じます。法人組織ではないので、何かの時に、会長個人に責任が行ってしまうのは困るなと思います。
- ・年々町会活動が難しくなっている。今、行政からの情報等はホームページ等で容易に得られる事もあって若年層の町内会への加入者が少なくなっている。更に役員のなり手が少なく、又各種委員の推せんが難しい現状です。

《加入促進、自治会離れ》《少子高齢化、若年層・中間層不足》

- ・高齢者のための組織のように感じるがあります。人口が減少する中、育児をしている世代に向けた活動を中心にしていくことが大切ではないかと感じています。
- ・会員の高齢化に伴い、災害時要援護者の対象者が増えて行き、同時に支援する方も高齢化していく。実際に災害が起こった時、どこまで町会として対応できるかが心配である。
- ・当自治会の高齢化率は45%近いと思われ、老人に依る自治会活動は、活動エネルギーの消耗が多く、新規事業に積極的に取り組む事がむずかしい状況である。老人者は特に、ITに対する理解がなく、消極的である。

《コロナ感染症》

- ・高齢の方が多いため、コロナ感染症防止対策活動が実施しづらい。他の町内会の活動状況で参考になる事が有れば教えていただきたい。

《その他》

- ・市長さんや区長さんに忙しいと思うけど、足を運んで現場を見てほしい。みんなの生の声を聞いてほしい。

《会館・施設》

- ・自治会活動の拠点が無い。事務所の賃借（年間）への補助金（一部）があっても良いのではないかと。

Ⅱ. 調査結果（地区連合町内会）

1 地区連合町内会長について

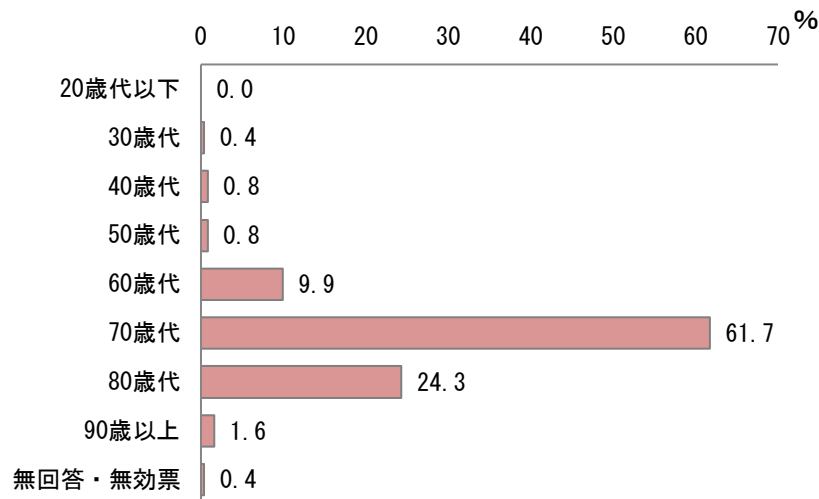
【会長の年齢】

「70歳代」（61.7%）が最も多く、全体の約6割となっている。次いで「80歳代」（24.3%）、「60歳代」（9.9%）と続いている。70歳代以上をあわせると87.6%となっている。

前回調査と比べると、60歳代の割合が減少し、70歳代、80歳代の割合が増加している。

年齢

n=243



年齢	n=243		n=224		n=224		n=238	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
20歳以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30歳代	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40歳代	2	0.8	1	0.4	0	0.0	0	0.0
50歳代	2	0.8	3	1.3	2	0.9	5	2.1
60歳代	24	9.9	53	23.7	50	22.3	54	22.7
70歳代	150	61.7	122	54.5	126	56.3	136	57.1
80歳代	59	24.3	42	18.8	41	18.3	43	18.1
90歳以上	4	1.6	1	0.4	0	0.0	0	0.0
無回答・無効票	1	0.4	2	0.9	5	2.2	0	0.0

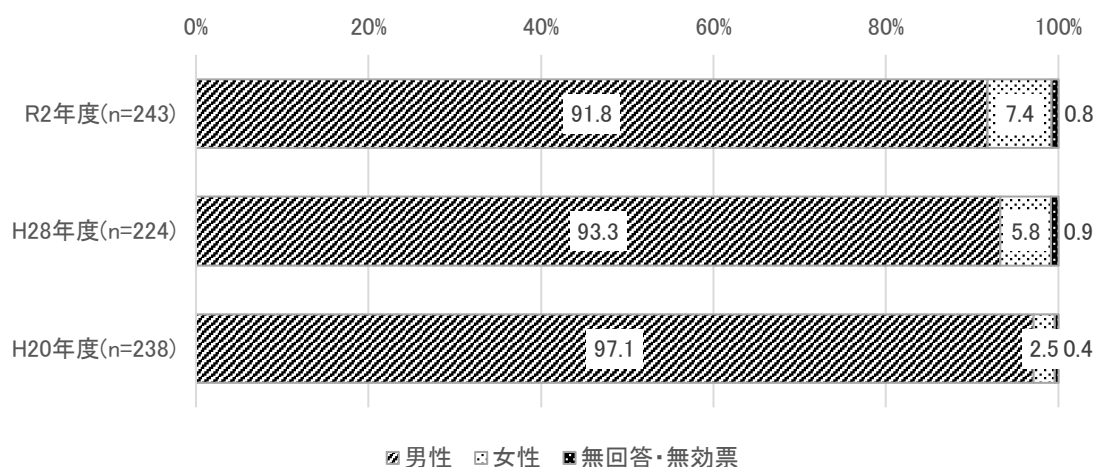
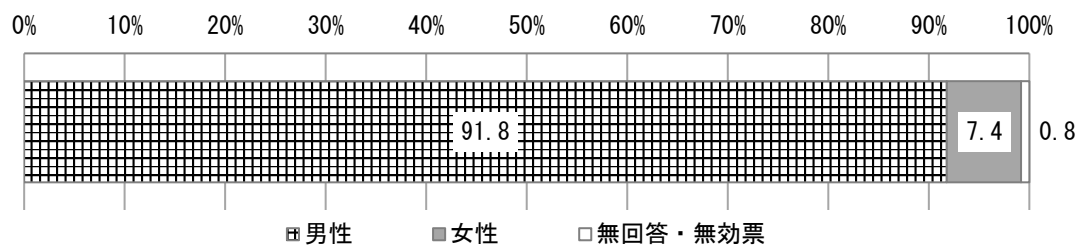
【会長の性別】

「男性」(91.8%)が全体の9割以上を占めている。

過去調査と比較すると、徐々に男性の割合が減少し、女性の割合が増加している。

性別

n=243



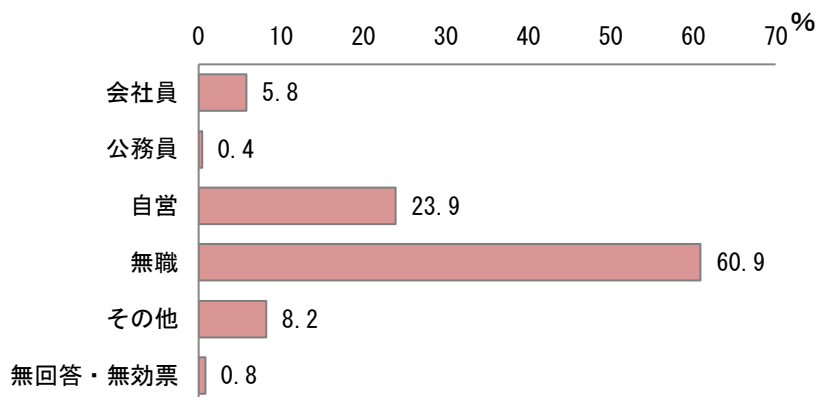
※H24年度はこの項目についてアンケートを行っていない

【会長の職業】

「無職」(60.9%) が最も多く、次いで「自営」(23.9%) と続いている。

職業

n=243



職業	n=243		n=224		n=238	
	R2年度 実数	%	H28年度 実数	%	H20年度 実数	%
会社員	14	5.8	9	4.0	13	5.5
公務員	1	0.4	1	0.4	1	0.4
自営	58	23.9	52	23.2	70	29.4
無職	148	60.9	139	62.1	128	53.8
その他	20	8.2	20	8.9	24	10.1
無回答・無効票	2	0.8	3	1.3	2	0.8

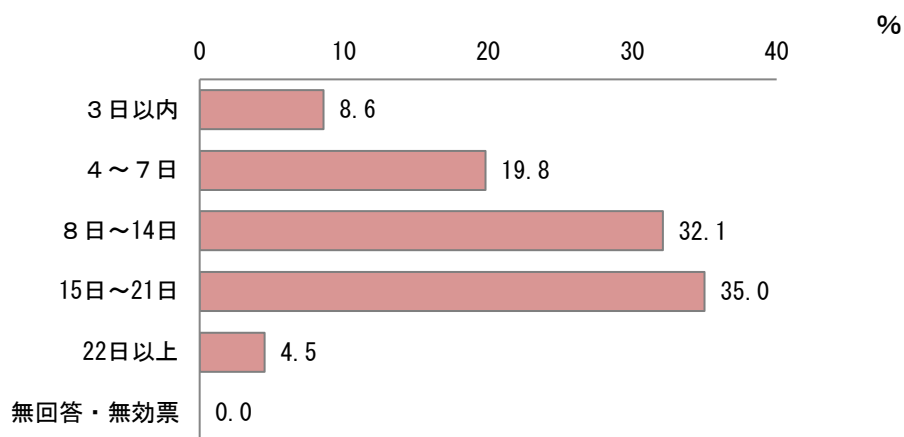
※H24年度はこの項目についてアンケートを行っていない

【1か月の地区連合町内会活動の従事日数】

「15日～21日」(35.0%)が最も多く、次いで「8日～14日」(32.1%)、「4日～7日」(19.8%)と続いている。

活動の従事日数

n=243



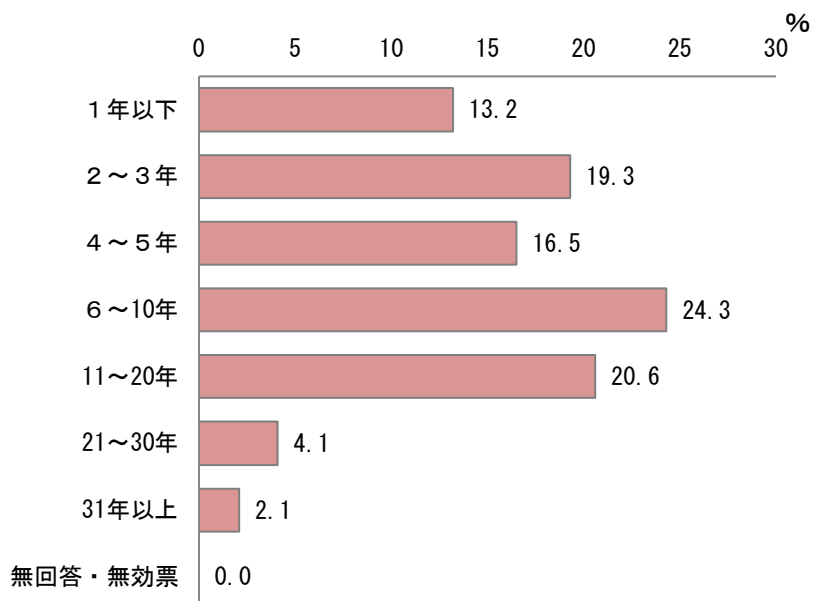
【会長の在職年数】

「6年～10年」(24.3%)が最も多く、次いで「11年～20年」(20.6%)、「2年～3年」(19.3%)となっている。

前回調査と比べると、「11年～20年」が10%強増加している。

在職年数

n=243



在職年数	n=243		n=224		n=224		n=238	
	R2年度 実数	%	H28年度 実数	%	H24年度 実数	%	H20年度 実数	%
1年以下	32	13.2	47	21.0	40	17.9	34	14.3
2～3年	47	19.3	53	23.7	54	24.1	51	21.4
4～5年	40	16.5	37	16.5	39	17.4	51	21.4
6～10年	59	24.3	53	23.7	52	23.2	38	16.0
11～20年	50	20.6	22	9.8	22	9.8	44	18.5
21～30年	10	4.1	3	1.3	10	4.5	12	5.0
31年以上	5	2.1	4	1.8	1	0.4	6	2.5
無回答・無効票	0	0.0	5	2.2	6	2.7	2	0.8

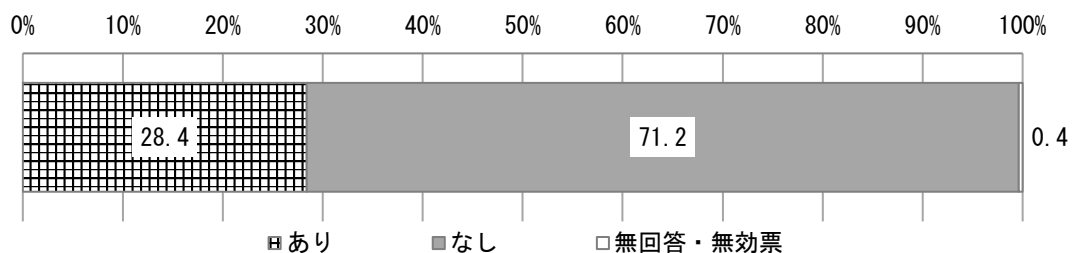
2 地区連合町内会館について

【地区連合町内会館の有無】

「なし」173件（71.2%）、「あり」69件（28.4%）となっている。

会館の有無

n=243

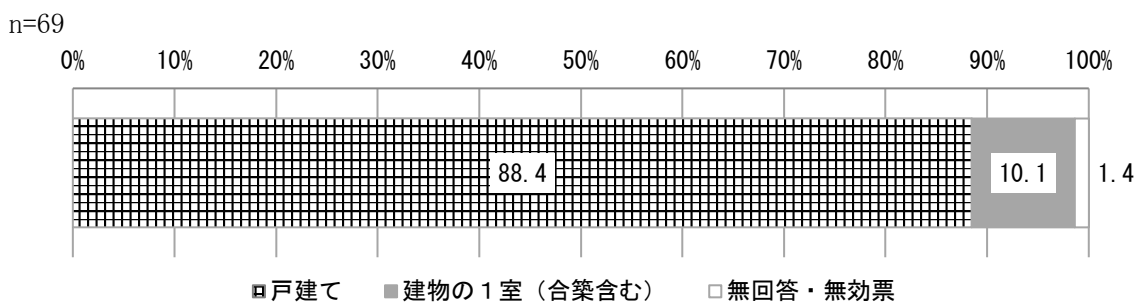


会館の有無	n=243		n=224		n=224	
	R2年度		H28年度		H24年度	
	実数	%	実数	%	実数	%
あり	69	28.4	58	25.9	55	24.6
なし	173	71.2	165	73.7	164	73.2
無回答・無効票	1	0.4	1	0.4	5	2.2

【地区連合町内会館の種類別】

「戸建て」（88.4%）が最も多く、全体の9割弱を占めている。戸建ての階数別内訳では、「2階建て」（45.9%）が最も多く、次いで「平屋」（39.3%）となっている。

会館の種類別



会館の種類別内訳

会館の種類	n=69		n=58		n=55		
	R2年度		H28年度		H24年度		
	実数	%	実数	%	実数	%	
戸建て	61	88.4	51	87.9	48	87.3	
戸建て 階数別 内訳	平屋	24	39.3	15	29.4	22	45.8
	2階	28	45.9	23	45.1	21	43.8
	3階以上	4	6.6	3	5.9	2	4.2
	不明	5	8.2	10	19.6	3	6.3
建物の1室 (合築含む)	7	10.1	3	5.2	7	12.7	
不明	1	1.4	4	6.9	0	0.0	

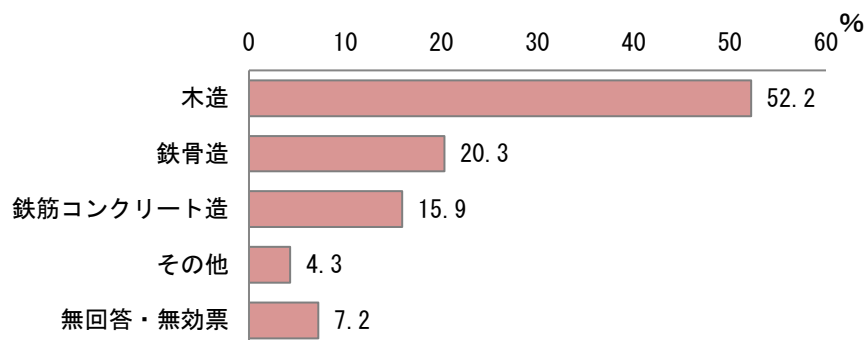
【地区連合町内会館の構造】

「木造」(52.2%)が最も多く、次いで「鉄骨造」(20.3%)が続いている。

過去調査と比較すると、「鉄骨造」、「鉄筋コンクリート造」が減少傾向にあり、「木造」が前回調査より増加している。

構造

n=69



構造	n=69		n=58		n=55	
	R2年度		H28年度		H24年度	
	実数	%	実数	%	実数	%
木造	36	52.2	26	44.8	26	47.3
鉄骨造	14	20.3	16	27.6	16	29.1
鉄筋コンクリート造	11	15.9	10	17.2	11	20.0
その他	3	4.3	2	3.4	2	3.6
無回答・無効票	5	7.2	4	6.9	0	0.0

【地区連合町内会館の築年数】

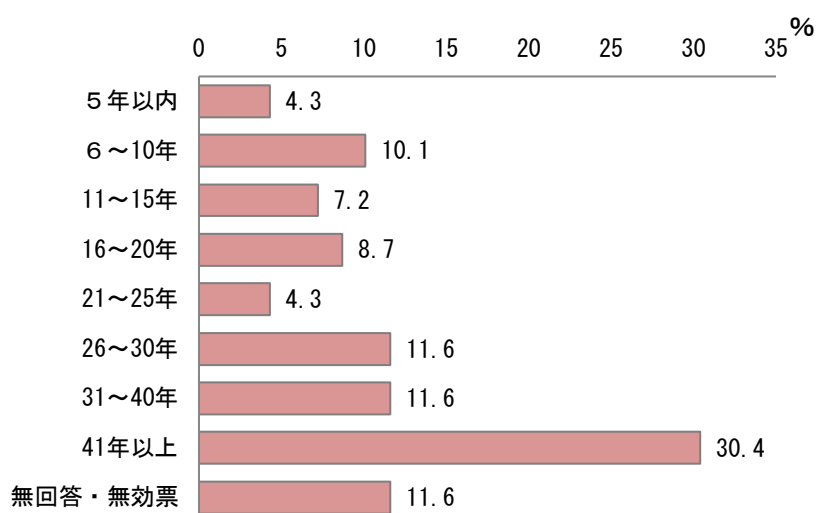
「41年以上」（30.4%）が最も多く、次いで「26～30年」「31～40年」（11.6%）、「6年～10年」（10.1%）と続いている。また、「築40年以上」の会館は「築41年以上」30.4%に「築40年」2.9%を加えた、33.3%である。全体の3割を超える会館が旧耐震基準だと思われる。

過去調査と比較すると、「41年以上」が増加傾向となっている。

※建築基準法の耐震基準は、1981年（昭和56年6月）に改正され、それ以前を「旧耐震基準」としている。

築年数

n=69



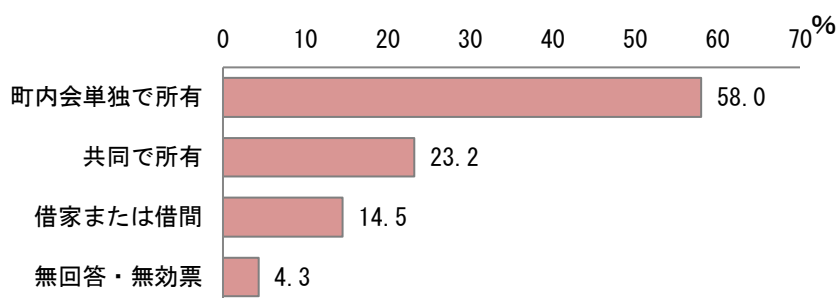
築年数	n=69		n=58		n=55	
	R2年度		H28年度		H24年度	
	実数	%	実数	%	実数	%
5年以内	3	4.3	5	8.6	5	9.1
6年～10年	7	10.1	4	6.9	4	7.3
11年～15年	5	7.2	5	8.6	6	10.9
16年～20年	6	8.7	6	10.3	6	10.9
21年～25年	3	4.3	5	8.6	5	9.1
26年～30年	8	11.6	6	10.3	4	7.3
31年～40年	8	11.6	8	13.8	14	25.5
41年以上	21	30.4	13	22.4	7	12.7
無回答・無効票	8	11.6	6	10.3	4	9.1

【地区連合町内会館の所有形態】

「地区連合町内会単独で所有」（58.0%）が最も多く、次いで「共同で所有」（23.2%）、
「借家または借間」（14.5%）と続いている。

所有形態

n=69



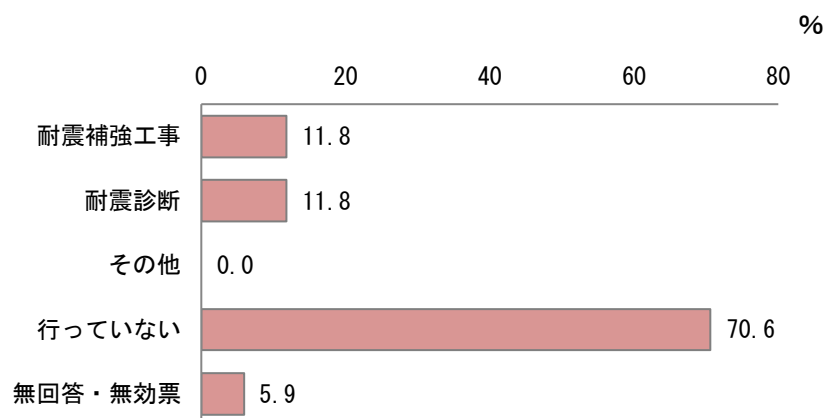
【実施した耐震対策】（築40年以上の会館）

「行っていない」（70.6%）が最も多い。

※昭和56年6月以前に建築された建物は旧耐震基準となっている

実施した耐震対策

n=17【会館の築年数】の「築40年以上」のうち【会館の所有形態】の「地区連合町内会単独で所有」、「共同で所有」を抽出した回答数)

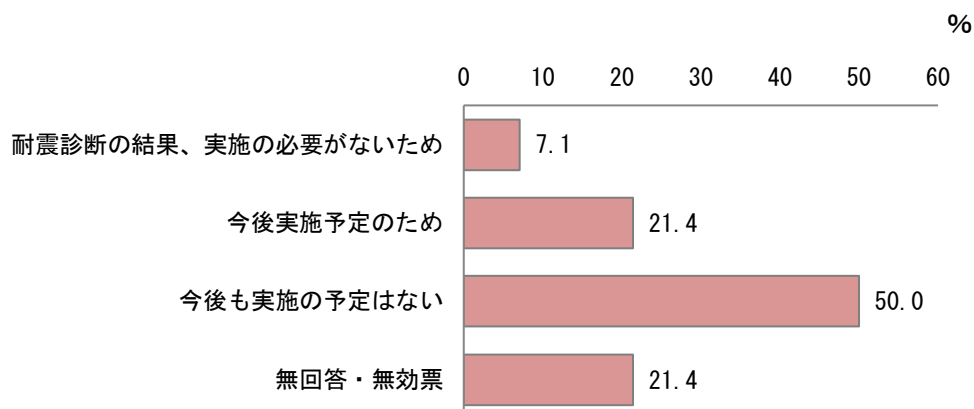


【耐震工事を実施していない理由】（築40年以上の会館）

「今後も実施の予定はない」（50.0%）が最も多い。

実施していない理由

n=14（【実施した耐震対策】の「耐震診断」、「その他」、「行っていない」の回答数合計）

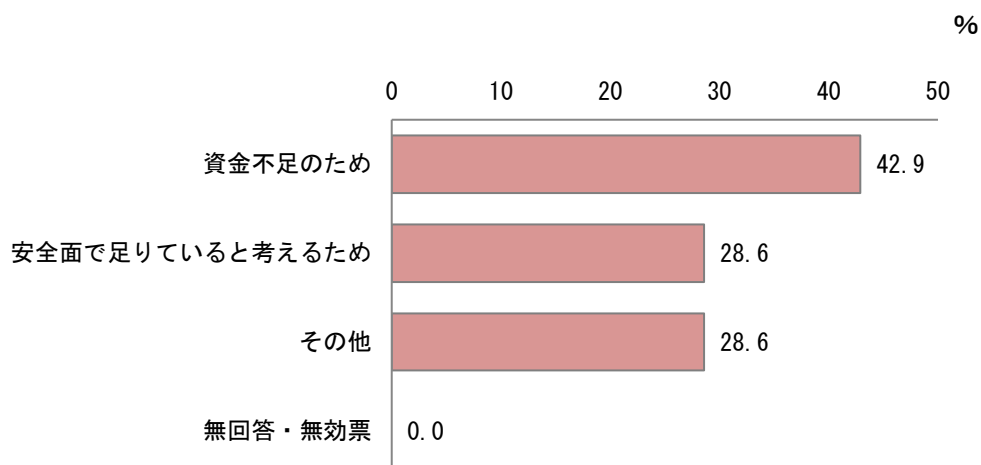


【耐震工事を今後も実施する予定がない理由】（築40年以上の会館）

「資金不足のため」（42.9%）が最も多い。

実施する予定がない理由

n=7（【耐震工事を実施していない理由】の「今後も実施の予定はない」の回答数）

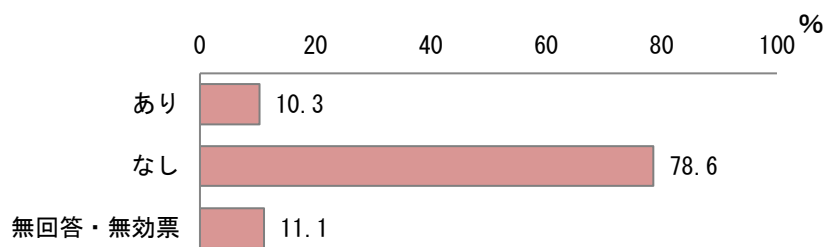


【地区連合町内会館の整備計画について】

「なし」191件（78.6%）、「あり」25件（10.3%）となっている。

整備計画の有無

n=243

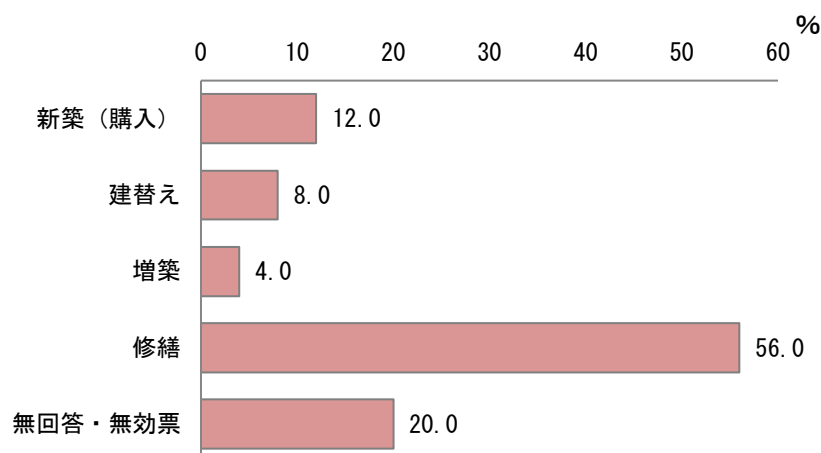


【整備計画の種類】

「修繕」（56.0%）が最も多く、全体の過半数を占める。

整備計画の種別 ※複数回答

n=25



予定年度別の整備計画

整備計画	新築（購入）	建替え	増築	修繕
R2年度中	0	0	0	1
R3年度中	0	0	0	3
R4年度以降	0	0	0	2
未定	2	0	1	1

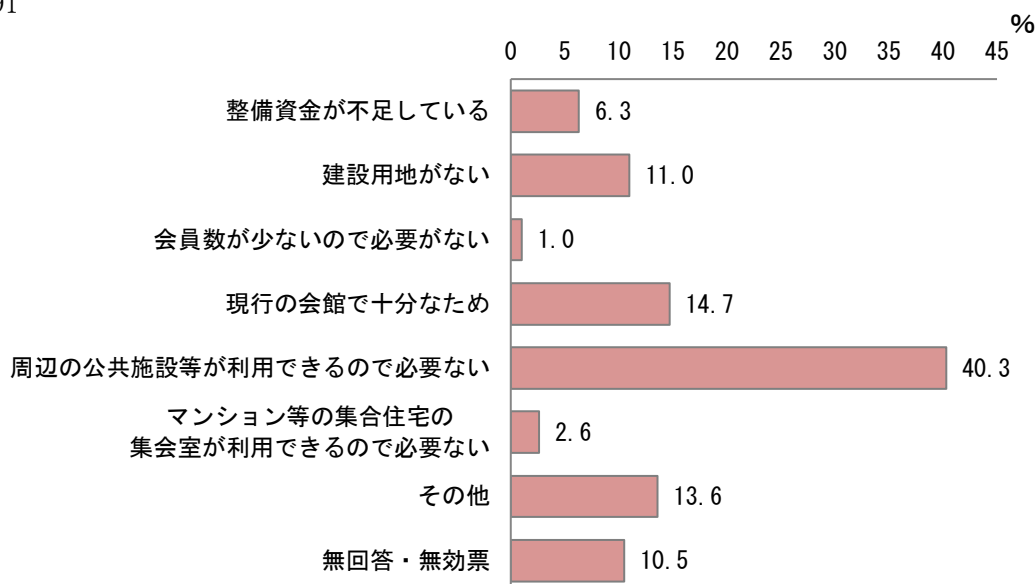
【会館の整備計画がない理由】

「周辺の公共施設等が一時的に利用できるので、会館は必要ない」(40.3%)が最も多く、次いで「現行の会館で十分なため、増築・改修・修繕等は必要ない」(14.7%)となっている。

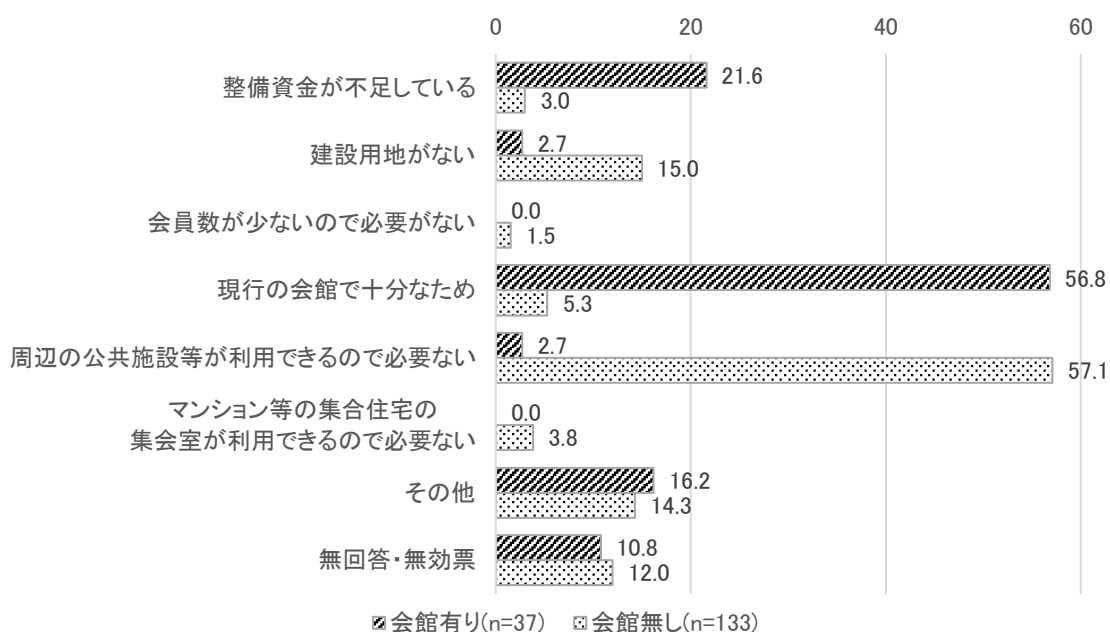
会館の有無別に比較すると、会館有りでは、「現行の会館で十分なため、増築・改修・修繕等は必要ない」(56.8%)が最も多く、会館無しでは、「周辺の公共施設等が一時的に利用できるので、会館は必要ない」(57.1%)が最も多くなっている。

最も大きい理由

n=191



整備計画がない理由（会館の所有の有無別） ※無回答、無効票を除いて計算



3 地区連合町内会の活動について（コロナ感染症拡大以前）

最も多かったのは、実施していた活動では、「お祭り・イベントの開催」（65.8%）で、他の団体と協力して実施していた活動では、「福祉事業」（42.0%）である。今後、さらに力を入れていきたい活動では、「担い手育成のための取組」（25.5%）である。

活動状況と今後の意向

n=243

活動内容	実施していた		他の団体と協力していた		今後さらに力をいれていきたい		実施していない	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
連合独自での情報共有 （ポスター掲示・会報誌の発行など）	143	58.8	33	13.6	12	4.9	25	10.3
防火防災活動 （避難訓練の実施、防災マップの作成など）	131	53.9	57	23.5	7	2.9	21	8.6
防犯活動 （防犯パトロール、防犯灯の見守りなど）	126	51.9	61	25.1	6	2.5	24	9.9
町の美化事業 （清掃活動・花壇設置など）	96	39.5	82	33.7	5	2.1	33	13.6
福祉事業 （高齢者や障害者への福祉活動など）	97	39.9	102	42.0	7	2.9	8	3.3
会員の健康づくり・スポーツ・ レクリエーション活動 （ウォーキング会・ラジオ体操・運動会など）	141	58.0	45	18.5	6	2.5	18	7.4
子育て支援 （親子の居場所づくりなど）	86	35.4	84	34.6	12	4.9	34	14.0
3R夢行動 （ごみの減量、再資源化）	107	44.0	59	24.3	22	9.1	31	12.8
温暖化対策 （啓発活動、緑のカーテン設置など）	38	15.6	28	11.5	36	14.8	115	47.3
交通安全活動 （交通安全期間中の啓発活動など）	110	45.3	76	31.3	10	4.1	26	10.7
お祭り・イベントの開催 （催事・バス旅行など）	160	65.8	32	13.2	1	0.4	18	7.4
仲間づくりを目的とした事業 （趣味の教室、地域交流拠点、サロンなど）	94	38.7	88	36.2	14	5.8	23	9.5
福利厚生 （会員への慶弔事業など）	128	52.7	32	13.2	10	4.1	54	22.2
担い手育成のための取組 （研修会の開催など）	48	19.8	47	19.3	62	25.5	62	25.5
その他	10	4.1	4	1.6	2	0.8	3	1.2

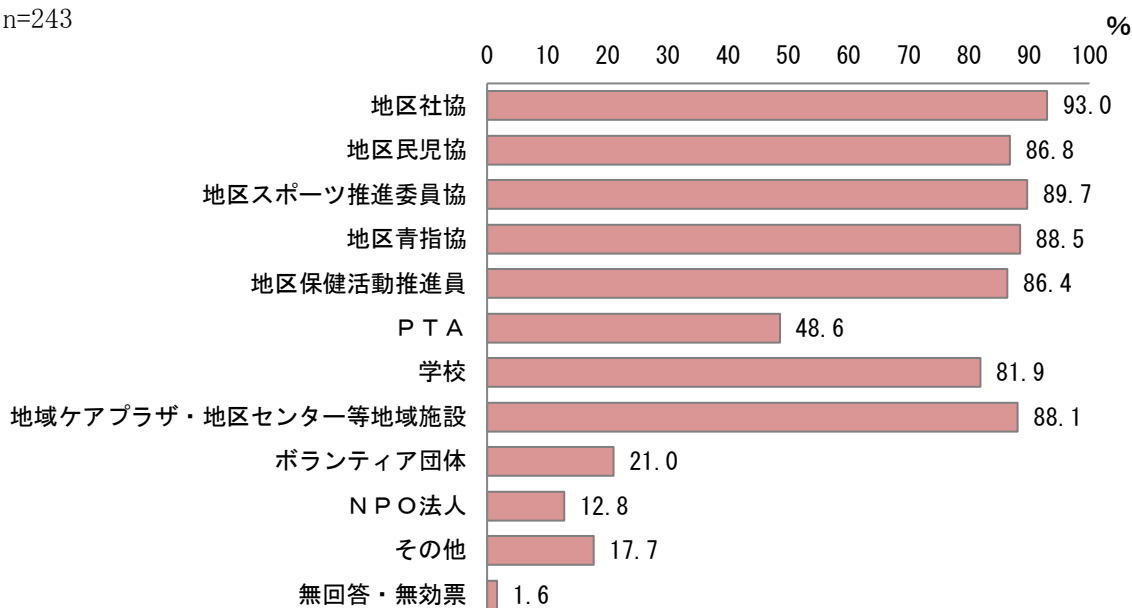
他の団体との協力について

【協力して活動している他の団体】

協力して活動している団体で最も多いのは、「地区社協」(93.0%)であり、9割を超える地区連合町内会で協力している。次いで「地区スポーツ推進委員協」(89.7%)、「地区青指協」(88.5%)となっている。

他の団体 ※複数回答

n=243



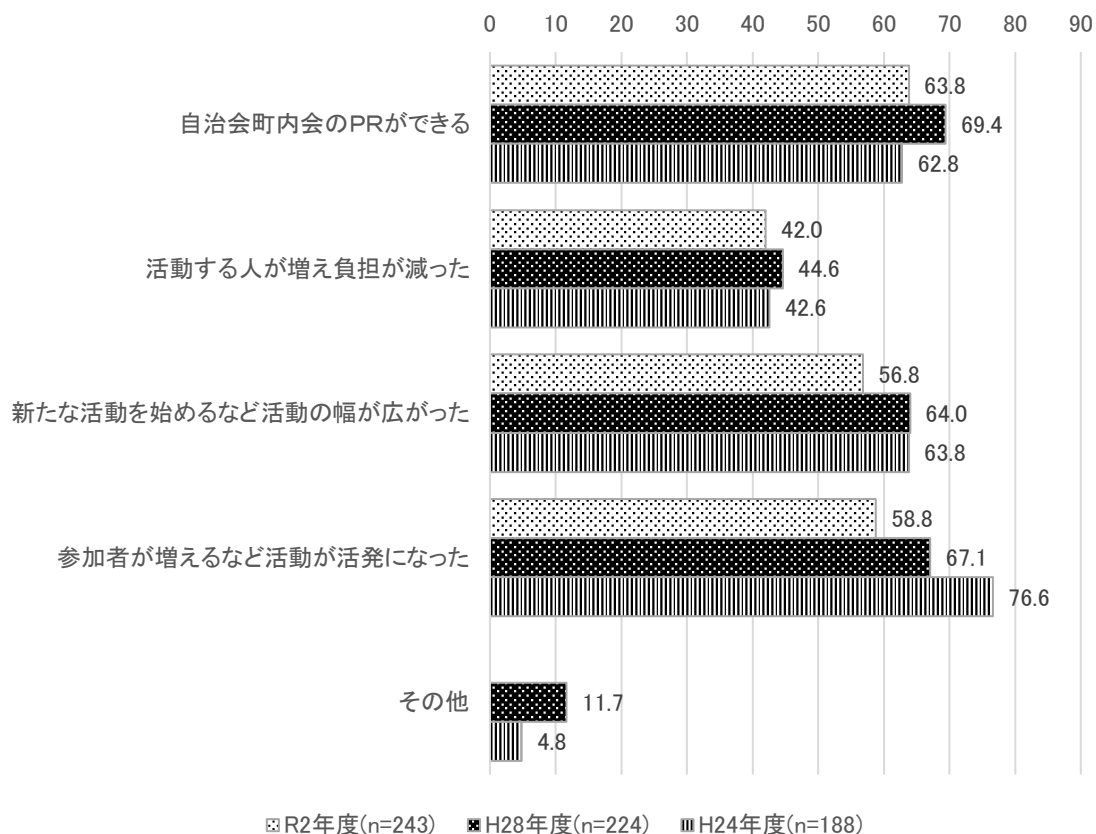
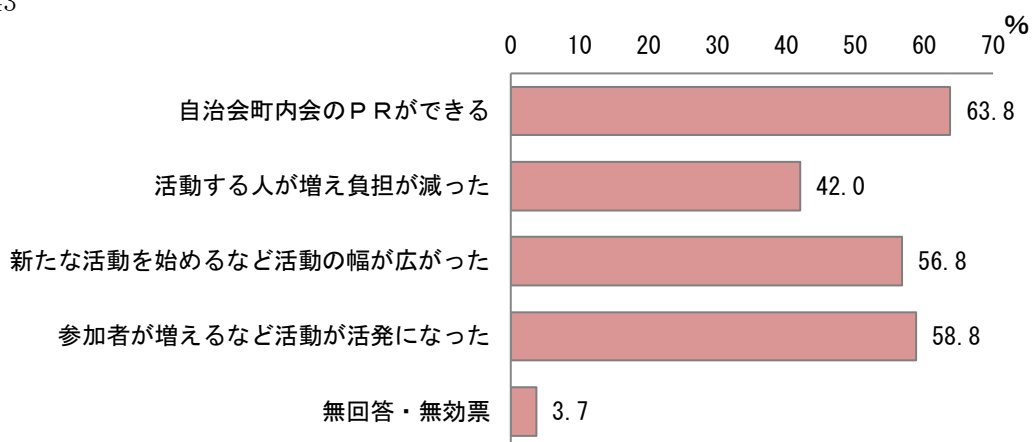
団 体	n=243		n=224		n=188	
	R 2 年度 実数	%	H28 年度 実数	%	H24 年度 実数	%
地区社協	226	93.0	216	96.4	181	96.3
地区民児協	211	86.8	185	82.6	150	79.8
地区スポーツ推進委員協	218	89.7	208	92.9	168	89.4
地区青指協	215	88.5	206	92.0	171	91.0
地区保健活動推進員	210	86.4	199	88.8	151	80.3
P T A	118	48.6	123	54.9	113	60.1
学校	199	81.9	194	86.6	163	86.7
地域ケアプラザ・地区センター等地域施設	214	88.1	201	89.7	154	81.9
ボランティア団体	51	21.0	44	19.6	40	21.3
N P O法人	31	12.8	36	16.1	22	11.7
その他	43	17.7	35	15.6	24	12.8
無回答・無効票	4	1.6	3	1.3	1	0.5

【協力して活動を行ってよかったこと】

「自治会町内会のPRができる」(63.8%)が最も多く、次いで「参加者が増えるなど活動が活発になった」(58.8%)、「新たな活動をはじめると活動の幅が広がった」(56.8%)となっている。過去調査と比較すると、「参加者が増えるなど活動が活発になった」は減少傾向にある。

協力してよかったこと

n=243

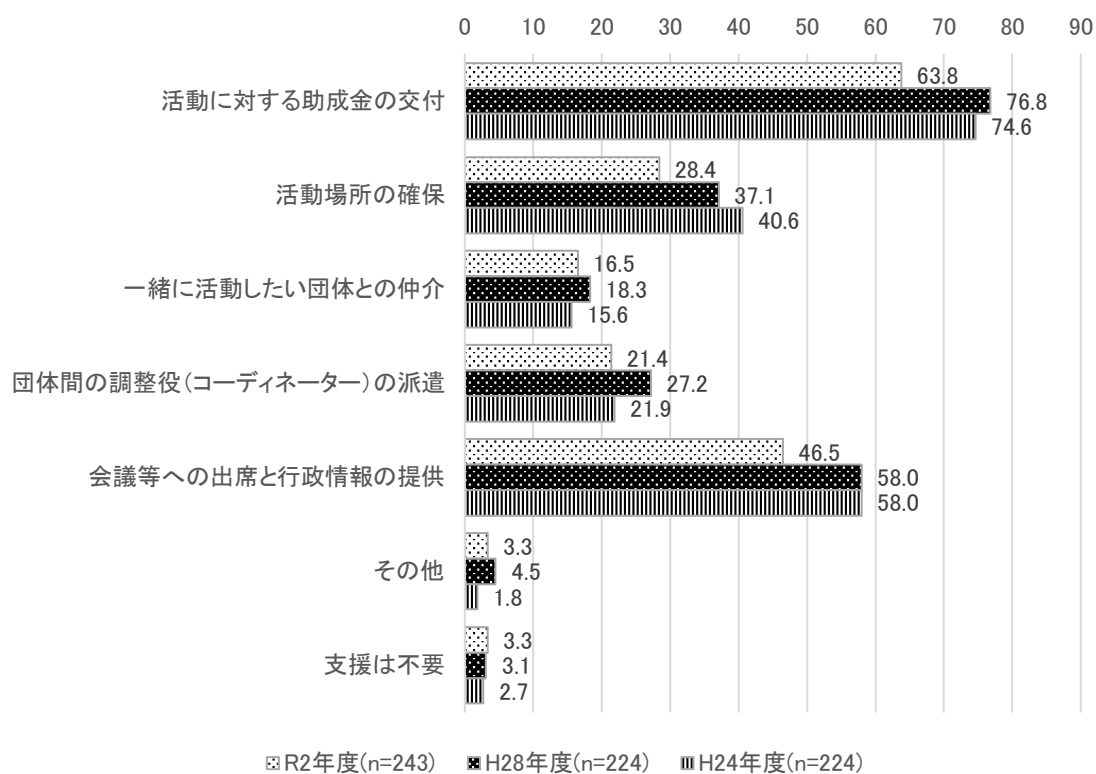
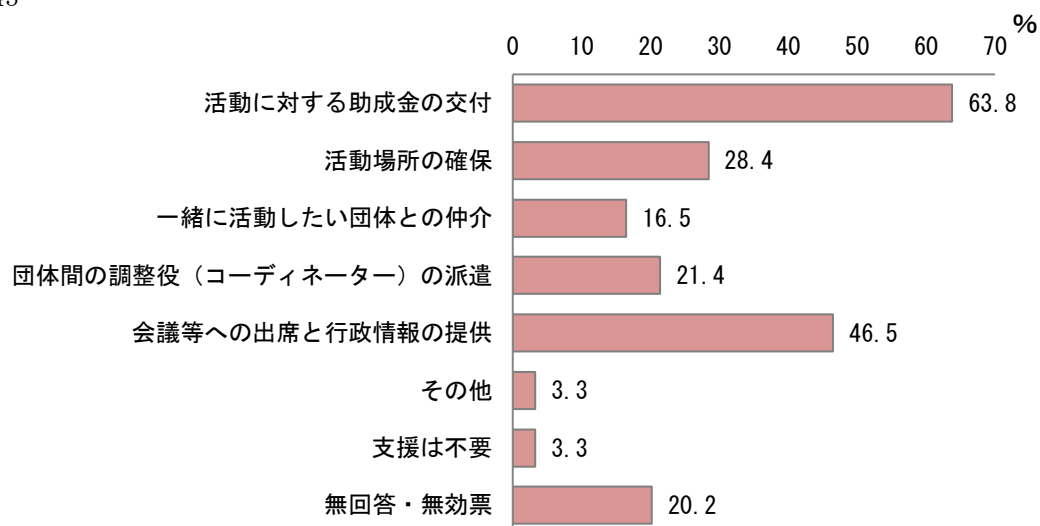


【他の団体との協力に向けて、行政の支援として有効と考えられる項目】

「活動に対する助成金の交付」(63.8%)が最も多く、次いで「会議等への出席と行政情報の提供」(46.5%)、「活動場所の確保」(28.4%)と続いている。

行政の支援として有効と考えられる項目

n=243

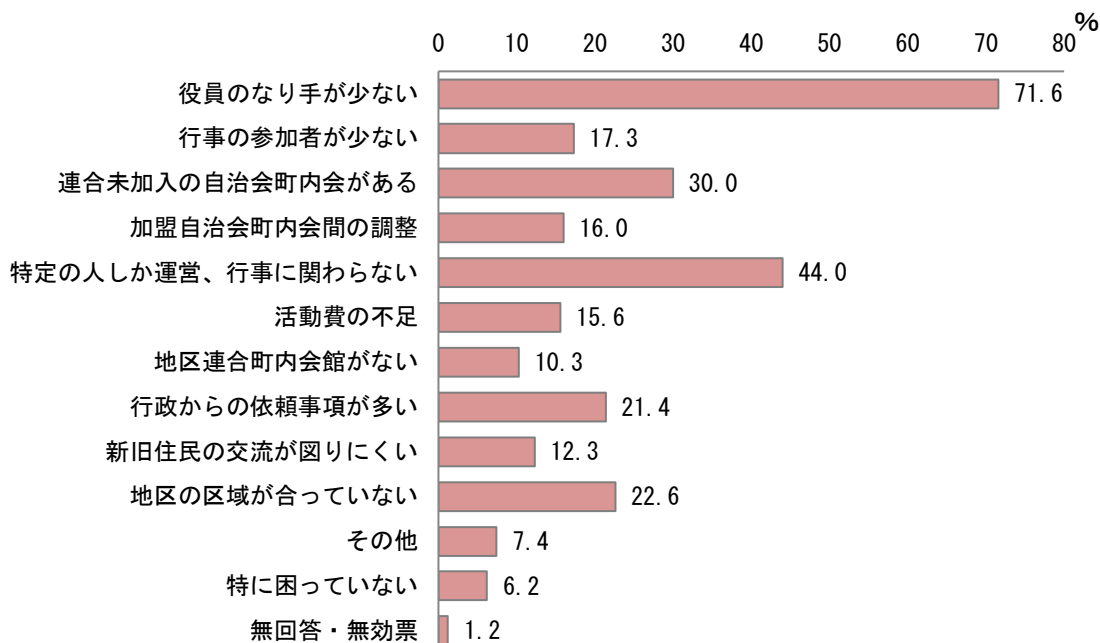


4 地区連合町内会の運営上の課題について

「役員のなり手が少ない」(71.6%) が最も多く、次いで「特定の人しか運営、行事に関わらない」(44.0%)、「連合未加入の自治会町内会がある」(30.0%) と続いている。

運営上の課題 ※複数回答

n=243



n=243

n=224

課題	R2年度		H28年度	
	実数	%	実数	%
役員のなり手が少ない (高齢化・負担が大きいなど)	174	71.6	122	54.5
行事(祭り等)の参加者が少ない	42	17.3	25	11.2
連合未加入の自治会町内会がある	73	30.0	52	23.2
加盟自治会町内会間の調整	39	16.0	27	12.1
特定の人しか運営、行事に関わらない	107	44.0	53	23.7
活動費の不足	38	15.6	47	21.0
地区連合町内会館がない	25	10.3	36	16.1
行政からの依頼事項が多い	52	21.4	85	37.9
新旧住民の交流が図りにくい	30	12.3	20	8.9
地区の区域が学区域や消防団の区域などと合っていない	55	22.6	60	26.8
その他	18	7.4	27	12.1
特に困っていない	15	6.2	40	17.9
無回答・無効票	3	1.2	6	2.7

5 コロナ禍における活動での課題、工夫

150 団体から挙げられた 219 件の意見を次の通り分類・集計した。

() は内数

コロナ禍における活動での課題、工夫	件数
《活動での工夫》	179
「衛生対策」に関すること (衛生対策の徹底、マスクや消毒液等の配布 など)	(53)
「活動の縮小」に関すること (活動頻度・人数・時間の縮小、3密回避)	(77)
「代替活動」に関すること	(27)
「代替活動の実施に関すること」	(8)
「ICT の活用」に関すること (リモート会議・オンラインイベントの開催 アプリを活用した情報伝達 など)	(19)
その他	(22)
《活動での課題》	40
活動の中止 会員同士の交流の不足 活動場所の確保 など	
合 計	219

活動での課題、工夫（抜粋）

- ・自治会、町内会の会館を使用する場合は、3密回避、衛生対策、マスクの着用、検温、参加者の把握（名簿作成）を義務づけています。
- ・文書、書面決議で広報しました。また、町内会での毎月の広報誌配布も組長に持参して頂きました。
- ・連合の定例会では時間の短縮等、行政の指示通りに開催して、病気にならないよう、最大限の努力をしている。
- ・令和2年の活動は全て年内中止した。一部開催した事業も10人前後と通常の半分以下の規模で行った。連絡手段として会長会は、通常の約半数程度実施した。
- ・新たな取組として、オンラインによる「ハロウィン大会」を協賛として参加する。
- ・連合、単会との情報交換、資料交換などを、SNSを活用すること検討。連合のホームページの設置も検討していく。そのためのPC2台を購入した。
- ・オンライン（Zoom）での会議（役員会、連合月例会）を実施している。実会場とオンライン参加の併用のために、専用のマイク、カメラ等の購入を今後検討したい。
- ・多くの行事や会合が中止となり、自治会の最も重要な役割である親睦の機会が失われていることが大きな課題。コロナ感染のポイントを正しく理解し、感染防止対策を行ない、自治会活動を恐れず取組むように広報を通じて啓蒙している。

6 地区連合町内会活動に関するご意見

122 団体から挙げられた 139 件の意見を次の通り分類・集計した。

() は内数

地区連合町内会活動に関するご意見	件数
《活動内容（充実・活性化）》	108
「充実」に関すること（活動の成果や実績、今後の展望、行政への要望）	(93)
「助成金・予算」に関すること	(1)
「区域」に関すること（学区や防災拠点との整合、町内会数のバランスなど）	(14)
《会長・役員》 役員の担い手不足、役員の高齢化など	30
《会館》 会館・集会所、活動場所など	1
合 計	139

連合町内会長の声（抜粋）

- ・連合の中では、町内会長や各部の部長などと本音で話し合い、よりよい連合を目指してゆくよう工夫している。
- ・会長の高齢化と、それに伴う地域における課題認識の低下が課題となっている。ただ、地域の諸課題は一朝一夕に解決出来ることは少なく、一般住民は誰かが運営して、その内何とかなるのだろう、くらいにしか考えていない場合が多いので、大問題にならない限り、変わらないまま時間がすぎていくが、防災対策や空家対策など看過出来ないことは多々あるのが実情である。
- ・同じようなことを目的としている団体が多すぎる。地区連合町内会を中心にして、各団体を地区連合町内会が統括するようにすれば、横割りの活動ができるようになると思う。団体組織を作ったときは、その団体や組織に意味があったと思うが、時代と共に新たにできた団体や組織が活動すれば、昔の団体や組織は影が薄くなる。このような団体や組織を整理することが必要（例えば地区社協）。
- ・会長会でオンライン会議を実施したが、参加者が少なすぎる。現状は半数以上がパソコンに触った事が殆どなく、中古パソコン 5000 円販売や無償貸出、操作教室の提案もチャレンジしない。
- ・役員担い手問題について、連合の定例会単会町内会等で常に検討事項として、机上に乗りますが、課題解決には至りません。まず問題点は、住民住所録を作成しないため、新住民になられた方の、町内会に対する意識が薄いと感じます。そのため、現役員同志、お互いにご近所でご協力いただける方を説得中、回覧等で募集しております。
- ・もう少し区連会を区民にアピールしたら良いと思います。日常の生活が行政だけではなく、どれだけ自治会の活動の恩恵を受けているのかを分かかって頂きたい。また、区連会という大きな会議を開いているので、もう少し各単一自治会に知らせる工夫を教えていただけると、各地域に戻ってからの定例会が盛り上がると思います。
- ・地区連合町内会、地区社会福祉協議の壁を取り除く施策を 10 年前から実行してきました。若く新しいやり方でリードできる体制に変えていかなければならないと考えています。



令和2年度 横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書

令和3年3月発行

発行 横浜市市民局地域支援部地域活動推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話 045-671-2317 FAX 045-664-0734

・調査報告書は下記ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/jichikai/tyosa.html>